

2019 年度（平成 31 年度）

早稲田大学大学院

教育学研究科 入学試験要項

※教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）の入試要項は別になります。
教職大学院の受験を希望される方は、教職大学院HPより入試要項をご確認ください。

修 士 課 程

（学校教育専攻・国語教育専攻・英語教育専攻・社会科教育専攻・数学教育専攻）

一 般 入 学 試 験
特 別 選 考 制 度 入 学 試 験
外 国 学 生 入 学 試 験

早 稲 田 大 学

教育学研究科

住所 〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1
16 号館 2 階
電話 03-3208-0529
FAX 03-3202-2549
E-mail gse-admission@list.waseda.jp
URL: <https://www.waseda.jp/fedu/gedu/>

国際アドミSSIONズ・オフィス

住所 〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1
1 号館 2 階
電話 03-3204-9073
FAX 03-3204-9464
E-mail admission@list.waseda.jp

[事務所開室時間]

月曜日～土曜日 9:00～17:00（土曜日は資料閲覧のみ）

※ただし次の期間は閉室します

- ・夏季休業期間中（2018/8/3～9/20）の土曜日
- ・夏季一斉休業期間（2018/8/11～8/19）の全日

2019年度 早稲田大学大学院教育学研究科入学試験要項

目 次

I. 入学試験日程	1
II. 受験要領	
1. 出願資格	2
2. 募集専攻・人員	4
3. 出願期間・出願方法・出願書類提出先	4
4. 出願上の注意	5
5. 入学検定料	6
6. 出願書類	8
7. 受験票の送付	11
8. 試験科目・試験方法	12
9. 試験期日および合格者発表日	13
10. 試験会場	13
11. 合格者発表場所および時間	13
12. 受験上の注意事項	14
13. その他受験に際しての重要事項	14
III. 入学手続	
1. 手続書類の交付	16
2. 入学手続期間・方法	16
3. 入学手続に必要な書類	16
4. 入学手続に必要な入学金・学費・諸会費	17
【外国学生入試＜国外出願＞の方へ】在留資格「留学」の取得について	18
特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度	22
提携信販会社（オリコ・セディナ・楽天銀行）による「早稲田大学学費ローン（入学時）」	23
IV. 募集研究指導一覧・研究指導の内容	
1. 募集研究指導一覧	24
2. 研究指導の内容	26
V. 各コード一覧	
1. 都道府県コード	35
2. 設置区分コード	35
3. 課程区分コード	35
4. 学部コード	35
5. 受験外国語コード	35
6. 研究指導コード	36
7. 出身大学コード	38

科目等履修生の募集について

一般履修生・委託履修生・科目等履修生外国学生（国内出願）の募集は2019年2月以降に行います。科目等履修生外国学生入試の国外出願の募集はありません。入試要項は2018年10月頃に公開予定です。

個人情報の取扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・PHS・スマートウォッチ等の通信機能を持った機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

I. 入 学 試 験 日 程

入試種別	一般入試 特別選考入試	外国学生入試	
		国内出願	国外出願
出願審査申請期限 【注 1】を参照	2018 年 7 月 2 日（月）		
出願期間	郵送のみ： 2018 年 8 月 7 日（火）～ 8 月 23 日（木）（最終日消印有効）	郵送のみ： 2018 年 7 月 16 日（月） ～7 月 27 日（金） （最終日必着）	
一次試験（筆記） 筆記試験	2018 年 9 月 22 日（土）9：00～ 試験会場：早稲田キャンパス 16 号館 教育学部校舎		
一次試験合格発表	2018 年 9 月 22 日（土）19：00 発表場所：当研究科事務所掲示板（16 号館 2 階） ※同時刻に当研究科ウェブサイト上でも発表		
二次試験（口述） 口述試験	2018 年 9 月 23 日（日）10：00～ 試験会場：早稲田キャンパス 16 号館 教育学部校舎		
合格者発表	2018 年 9 月 26 日（水） 「合格者受験番号表」を受験者全員に速達郵便で発送します。 なお、正式な合格者発表は上記によるものとしますが、補助的な手段として合格者 発表日の 10:00 に教育学研究科ウェブサイト合格者受験番号を掲載します		
入学手続書類発送	2019 年 2 月上旬（郵送）		2018 年 11 月上旬（郵送）
入学手続締切	2019 年 2 月 20 日（水）（消印有効） 【国外出願者については、以下の通り一次と二次手続を行う。】 （一次）2018 年 12 月 7 日（金）（郵送必着） （二次）2019 年 2 月 20 日（水）（郵送必着）		

【注1】 出願審査申請期限とは、次の出願資格で出願を希望する方に行う「個別の入学資格審査」の申請期限のことです。

教育学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、入学の時点で22歳に達する者

従って、その他の出願資格（例/大学を卒業した（する見込みの）者等）で出願する方は、「入学資格審査」を受ける必要はありません。

Ⅱ. 受 験 要 領

1. 出願資格

入試 区分	出 願 資 格
一 般 入 試	① 大学を卒業した者、および2019年3月までに卒業見込みの者 ② 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および2019年3月までに授与される見込みのある者 ③ 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および2019年3月までに修了見込みの者 ④ 文部科学大臣の指定した者 ⑤ 当研究科において、個別の入学資格審査により、大学卒業者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の時点で22歳に達する者 注1：英語教育専攻志願者は、出願締切日から遡って2年以内に実施された ・TOEFL 本試験「80 点以上 (iBT)」または「550 点以上 (PBT)」 ・IELTS Academic 本試験または IELTS for UKVI Academic 「6.5 点以上」 のいずれかのスコアを有していること。 注2：<u>外国において通常の課程による16年目の学校教育を修了および修了見込みの外国学生は、外国学生入試での受験となり「国際アドミッションズ・オフィス」が出願受付窓口となります。</u> 注3：上記「⑤」に該当して出願しようとする者は、事前に出願資格の審査を行ないますので当研究科へ問い合わせてください。 <u>(事前の出願資格審査締切：2018年7月2日(月)※最終日消印有効)</u>
特 別 選 考 制 度 入 試	次のA、Bの資格を共に有する者。 A. 「一般入試」の出願資格を満たすこと。ただし、次の点にご注意ください。 ① 2019年3月までに「大学卒業見込み」または「学士の学位取得見込み」の者は対象外。 ② 英語教育専攻を志願する場合、出願締切日から遡って2年以内に実施された ・TOEFL 本試験「80 点以上 (iBT)」または「550 点以上 (PBT)」 ・IELTS Academic 本試験または IELTS for UKVI Academic 「6.5 点以上」 のいずれかのスコアを有していること*。 *ただし、英語を媒介とするプログラム(EMI)で学士、あるいは修士の学位を取得している場合は例外とする。出願の際に、EMI であることが記載されている Certificate か、そうでない場合は EMI であることの証明(手紙：推薦状ではない)を担当教員に書いてもらい、提出する。 B. 当課程入学までに、下記いずれかの職(①・②・③の合算も可)において継続して3年以上の職務経験を有する者。また、教育の研究・実践に関し相当の経験と業績を有し、かつ現職の場合は、下記「a」・「b」の条件を満たしうる者。 ①学校教育法第1条に定める学校の専任教員 ②社会教育機関の専任の職 ③教育行政機関の専任の職 *いずれも専任に準ずる職を含む a. 初年度は、在職校等の勤務を離れて、就学に専念できること。 b. 2年目は、初年度同様勤務を離れて指導を受けること。あるいは在職校等に復帰する場合は、勤務しながら週1回程度通学し指導を受けることが可能であること。 ※【現職教員等の学生の履修方法の特例】 (1) 教育上特別に必要があると認められる場合には、特定の時間または時期において、適当な方法により授業または研究指導を行うことがある。 (2) 上記の方法による履修を希望する学生は、入学志願の際にその旨を申し出なければならない。 連絡先：教育学研究科入試係(電話：03-3208-0529 E-mail：gse-admission@list.waseda.jp) (3) 特例の適用を受けた学生は、第1年次は通常の形態による授業および研究指導を受け、第2年次は指導教員の指示に従って定期的に研究指導を受けなければならない。

外国学生入試	① 外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者、または 2019 年 3 月までに修了見込みの者 ② 外国において学校教育における 15 年の課程を修了、または 2019 年 3 月までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者 ③ 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学までに 22 歳に達する者 注 1：外国学生入試の該当者は「国際アドミSSIONズ・オフィス」が出願受付窓口となりますので、ご注意ください。 注 2：「外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における 16 年目の課程を修了した者」という意味です。 注 3：初等～高等教育までの正規の課程の年数が 16 年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。”学歴確認フォーム”を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、早稲田大学国際アドミSSIONズ・オフィスまでお問い合わせください。 注 4：外国籍の方であっても、日本の大学の学部を卒業（見込みを含む）、または大学院を修了（見込みを含む）した者は、「外国学生」には該当しません。 ・学歴確認フォーム ダウンロードサイト http://web.waseda.jp/admission/g.jp/faq/ ・問い合わせ先メールアドレス iao-gs@list.waseda.jp 注 5：日本語能力試験 1 級／N1 または日本留学試験「日本語」260 点以上のスコアを有していることが必要です。（日本語能力試験および日本留学試験の実施年度は問わない）。また、スコアを外国語科目の得点に調整して利用します。 注 6：英語教育専攻志願者は、出願締切日から遡って 2 年以内に実施された ・TOEFL 本試験「80 点以上（iBT）」または「550 点以上（PBT）」 ・IELTS Academic 本試験または IELTS for UKVI Academic「6.5 点以上」 のいずれかのスコアを有していること。
--------	---

2. 募集専攻・人員

専攻	修士課程募集人員（注）
学校教育専攻	30名以内
国語教育専攻	21名以内
英語教育専攻	21名以内
社会科教育専攻	27名以内
数学教育専攻	18名以内

（注）上記募集人員の3分の1程度は、特別選考制度入試による入学者の枠とします。

3. 出願期間・出願方法・出願書類提出先

入試区分	提出先	出願期間・方法
一般入試	教育学研究科	2018年8月7日(火)～8月23日(木) 出願はすべて 簡易書留速達郵便 による郵送受付です。 出願期間最終日の消印有効。
特別選考制度入試		
外国学生入試 (国内出願)	国際アドミッションズ・オフィス	2018年7月16日(月)～7月27日(金) 出願はすべてEMS等による郵送受付となり、 出願期間最終日必着とします。
外国学生入試 (国外出願)		

4. 出願上の注意

(全入試区分共通の注意事項)

- ・ 郵送する際、**別ファイル**の「志願票等送付用住所ラベル（住所・氏名を記入）」を封筒の宛名面に貼付のうえ送付してください。（※外国学生入試国外出願の方は該当しません。以下（外国学生入試対象者の注意事項）を参照してください。）
- ・ お住まいの地域や国によっては配達に時間を要するところがありますので、時間に余裕を持って送付するようにしてください。
- ・ 出願締切日までに届かなかった書類は一切受け付けません。
- ・ 出願書類の到着の有無に関する問い合わせにはお答えできません。書類到着の確認は、郵便局の追跡サービス（国外出願の場合は EMS 等の追跡サービス等）を利用の上、確認を行ってください。
- ・ 出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また当大学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
- ・ 出願後に志願票に書かれた住所・電話番号・Eメールアドレス等を変更した場合は、速やかに当研究科事務所に連絡をしてください。志願票に書かれた情報を変更したことが原因で当大学からの連絡が届かなかったとしても、当大学は一切の責任を負いません。

(外国学生入試対象者の注意事項)

- ・ 外国学生の出願手続は、志願者の居住地によって「国内出願」と「国外出願」とに区分が分かります。以下の定義により自身の出願区分を確認してください。「国内出願」「国外出願」はそれぞれ出願期間・出願方法等が異なりますので、十分にご注意ください。

	国内出願	国外出願
対 象	出願時に日本国内に居住する者	出願時に日本国外に居住する者
資格確認	志願票に記載された「現住所」から判断します	

- ・ 外国学生入試の出願書類発送先は、当研究科宛ではなく、国際アドミッションズオフィス宛です。
国内出願の方は、必ず所定の「志願票等送付用住所ラベル」を使用して送付してください。国外出願の方は、「志願票等送付用住所ラベル」の住所を国際宅配業者（EMS 等）のラベルに転記のうえ、送付してください。
- ・ 国内出願者で、出願時に入学時以降まで有効な在留資格を有していても、個々の事情により、入学後の在留資格の更新・変更が許可されない場合があります（現在保持している在留資格の根拠となる活動を、正当な理由なく継続して3ヶ月以上行っていない場合など）。入学後の在留資格更新・変更の取得については、当学は一切保証できません。必ず入国管理局に確認し、各自の責任において出願してください。
- ・ 一度提出した書類・資料の返還は原則として行いません。ただし、再発行が不可能な書類に限り書類の返還を行います。希望する場合は必ず「提出書類返還依頼書」を記入し、出願書類と一緒に送付してください。「提出書類返還依頼書」が出願書類と一緒に送付されていない場合は、書類の返還は一切行いません。

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科事務所にお問い合わせください。

また、大きな病気やけがのため、受験および就学に支障をきたす恐れがある方についても、それが万一出願後に起こった場合でも、速やかにお問い合わせください。

5. 入学検定料（入試区分ごとに、支払期間および支払方法が異なります）

入試区分	入学検定料支払い期間	入 学 検 定 料
一 般 入 試	7月26日(木) ～ 8月23日(木)	30,000円
特別選考制度入試		
外国学生入試（国内出願）		

日本国内からの検定料支払方法

- ① 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ② コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/>) にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- ③ 支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、『志願票No.2（様式—2）』の所定欄に貼り付けて提出してください。詳細は「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」を確認してください。
- ④ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Webサイトでの申込」は23:00まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は23:30までとなりますので注意してください。

※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に教育学研究科まで連絡してください。

入試区分	入学検定料支払い期間	入 学 検 定 料
外国学生入試（国外出願）	7月2日(月)～7月27日(金)	30,000円

日本国外からの検定料支払方法

下記の要領に従い、金融機関より海外送金してください。その際、銀行所定の海外送金申請書のコピーを出願書類に同封してください。

<海外送金要領>

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金額	入学検定料に円為替手数料を加えた金額 32,500円（検定料+円為替手数料2,500円） ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で手続時にお支払いください。
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
送金先銀行名	三菱UFJ銀行 (MUFG Bank, Ltd.)
支店名	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号	0035967FHR ※口座番号欄には数字7文字とアルファベット3文字を記入してください。
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒112-0014 東京都文京区関口 1-48-13 (1-48-13, Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 1120014, Japan)
スウィフトコード	BOTKJPJT
備考	必要連絡事項 (Message to Payee, if any) には受験者本人の氏名 (Applicant's name) の前に "37GSE" を必ず記入してください。

出願書類および入学検定料の返還について

一度受理した書類および入学検定料は原則として、返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額を返還いたします。該当する方は当研究科事務所までご連絡ください。

- ①検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- ②出願資格を満たさなかった、または、出願締切後に書類を提出した。

被災地の志願者に対する減免制度

当学では、被災地（災害救助法適用地域）の志願者に対して、受験・入学の機会をできるかぎり保障するため、被災の状況により、入学検定料や登録料（入学金相当額）、学費・諸会費の減免制度を用意しております。

2018年4月1日（入学予定日の1年前）以降に災害救助法が適用された地区町村において被災された方で、減免を希望される方は、入学センター（TEL:03-3203-4331）までお問い合わせください。

6. 出願書類

- ・「○」 → 必須提出 「△」 → 該当者のみ提出 「×」 → 提出不要
- ・word ファイルで提供されている書類については、所定の様式に直接データ入力したものを出力し、提出していただき結構です。ただし、様式の大きさ等は一切変更しないでください。〔A 4〕片面 1 枚で作成してください。〕

出願書類 記入上の注意

- (1) ペンまたはボールペン(黒)で記入してください。(鉛筆・フリクションペン等は不可)
- (2) 誤って記入した場合は、二本線で消し、訂正印を押印したうえで再度記入(できるだけ枠内)すること。修正液は使用しないでください。

様 式 名	提 出 書 類	一般	特別 選考	外国 学生
修士 様式-①	入学試験 志願票 No. 1	○	○	○
修士 様式-②	入学試験 志願票 No. 2 写真票に貼る写真は ・縦 4 cm×横 3 cm の証明写真 ・出願前 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真(上半身・正面・無帽・無背景・枠なし)、全身撮影による頭の部分の小さな写真は不可 ・マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。 ・スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。 ・証明写真ボックスで撮影されたスピード写真は受け付けますが、家庭等で撮影された写真は受け付けません。 ・裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に全面糊付けしてください。 ・ご提出いただいた写真は、試験当日の本人確認や、入学後の学生証の写真として使用しますので、本人を判別できるような写真を用意してください。また、学内諸手続における本人確認、および学内の各種 Web サービス等に本人確認情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。	○	○	○
修士 様式-③ 1/2・2/2	数学教育専攻入学試験調査票 ・文字数指定なし。ただし所定の様式内に収めること。 (それぞれ「A 4」片面 1 枚) 【数学教育専攻志願者のみ提出】	△	△	△
修士 様式-④	履歴書(特別選考制度入試用)	×	○	×
修士 様式-⑤	志望理由・研究計画書(一般入試、外国学生入試) ・文字数指定なし。ただし所定の様式内に収めること。 【数学教育専攻以外の志願者のみ提出】	△	×	△
修士 様式-⑥	研究計画書(特別選考制度入試用) ・文字数指定なし。ただし所定の様式内に収めること。	×	○	×

様 式 名	提 出 書 類	一般	特別 選考	外国 学生
修士 様式-⑦	受験承諾書 ・現職にある特別選考入試受験者は、受験にあたり、事前に所属長（学校長等）からの受験承諾を得、所属長に本様式を記入してもらってください。 （※退職予定の場合も、現職にある場合は提出は必須です。）	×	△	×
原本	学部の卒業証明書または卒業見込証明書 1部 ・「卒業（見込）」と「成績」が同一用紙で証明されている証明書でも結構です。 ・必ず証明書の原本を提出してください（コピーは不可）。 ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。 ・卒業（修了）見込の場合は、卒業（修了）見込証明書を提出し、合格後、入学手続を行う際に卒業（修了）証明書を必ず提出してください。入学試験に合格されても、入学までに提出できない場合は、入学を認められませんので注意してください。 ・中国の大学を卒業された方は、中国政府学歴認証センター（または中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構）が発行する「学歴認証報告書（英語版）」による提出も認めます。	○	○	○
原本	学位取得証明書（見込証明書） 1部 ・中国の大学を卒業し、学位を取得した学生は学位証明書と卒業証明書の両方を提出してください（中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格はあります）。	×	×	△
原本	学部の成績証明書 ただし、学部にて在学中の場合は前学年までの成績証明書 1部 ・「卒業（見込）」と「成績」が同一用紙で証明されている証明書でも結構です。 ・必ず証明書の原本を提出してください（コピーは不可）。 ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。 ・中国の大学を卒業された方は、中国政府学歴認証センター（または中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構）が発行する「成績認証報告書（英語版）」による提出も認めます。 ・成績証明書は、大学学部以上の全学期の成績が記載されたものを提出してください。 ・編入している者は編入学前の学部の成績証明書も提出してください。 ・飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由などが成績証明書に記載されていない場合は、それを証明する大学作成の書類を別途提出してください。 ・（外国学生のみ）休学・兵役等の期間があった場合は、その旨を証明する大学または公的機関発行の証明書を提出してください。	○	○	○

様 式 名	提 出 書 類	一般	特別 選考	外国 学生
原本	在職証明書または在職期間証明書 (資格と在職期間が明記されたもの) 1 部 ・ 在職期間が3年に満たない場合、他の勤務先の証明書類も提出すること。(連続していることが必要) ・ 専任に準ずる職にある方は、職務内容がわかる書類も提出してください。(雇用契約書など)	×	○	×
原本	編入学している場合は編入学前の学部の成績証明書 1 部	△	△	△
原本	英語能力証明書 ・ Official Score Report (TOEFL) または ・ Test Report Form (IELTS) 1 部 【英語教育専攻志願者のみ提出】 出願締切日から遡って2年以内に実施された ・ TOEFL 本試験「80 点以上 (iBT)」または「550 点以上 (PBT)」 ・ IELTS Academic 本試験または IELTS for UKVI Academic「6.5 点以上」のいずれかのスコアを有していることが必要です*。 *ただし、英語を媒介とするプログラム (EMI) で学士、あるいは修士の学位を取得している場合は例外とし、EMI であることが記載されている Certificate か、そうでない場合は EMI であることの証明 (手紙：推薦状ではない) を担当教員に書いてもらい、提出する。(特別選考制度入試のみ) <u>上記各スコア票が試験実施団体から出願締切日までに大学へ直接送付されるように、志願者が早めに依頼すること。</u> ※Test Report Form (IELTS) の依頼時は、必ず簡易書留等の追跡できる形で送ってもらうよう、試験実施団体に依頼してください ○TOEFL 団体ウェブサイト https://www.ets.org Official Score Report (TOEFL) の送付に必要なコード Institution Code : 9342 Department Code : 85 ※ (注意) 早稲田大学でも複数の送付先コードがあります。 必ず、上記コードを入力してください。 ○IELTS 団体ウェブサイト https://www.ielts.org/ Test Report Form (IELTS) 送付先は以下を記入してください 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学入学センター 国際アドミッションズ・オフィス入試係宛	△	△	△
コピー	英語能力スコア報告書 ・ TOEFL のスコア報告 または ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic のスコア報告 1 部 【英語教育専攻志願者のみ提出】 暫定的なスコア証明として、上記の「英語能力証明書」に加えて、手許にあるスコア報告のコピーまたはネット上のスコア確認画面を印字したもののどちらかを提出すること。	△	△	△
原本	改姓を証明できる公的証明書 (戸籍抄本等) 1 部 【改姓により志願票と各証明書の氏名が異なっている場合のみ】	△	△	△
原本の コピー	日本語能力証明書 1 部 日本語能力試験 1 級／N 1 合否結果通知書 (日本語能力認定書は不可) のコピー (過去のものでも可)、または日本留学試験「日本語」260 点以上の成績通知書のコピー (過去のものでも可) を提出すること。	×	×	○

様式名	提出書類	一般	特別 選考	外国 学生
修士 様式-⑧	提出書類返還依頼書 ・再発行が可能な書類の返還は一切行いません。(公証書、成績証明書、推薦状など)	×	×	△
修士 様式-⑨	推薦状 1部 ・所定様式のことを推奨しますが、所定様式以外の推薦状でも出願は可能です。推薦状は、2017 年 4 月以降に発行されたもののみ有効になります。推薦状は 必ず厳封 されたものを提出してください。 厳封が無いものは原則無効といたします 。また推薦状は日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成する場合は日本語または英語訳を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に公証は必要ありません。	×	×	○
修士 様式-⑩	経費負担計画書 ・所定の用紙に、当学に留学する間の総費用（修士課程は 2 年分、博士後期課程は 3 年分の学費及び生活費）をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。※志願者本人の署名を忘れないようにしてください。 ・経費負担計画書の「政府またはその他財団 (Government/sponsoring agency)」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書を提出してください。	×	×	○
原本のコピー	「在留カード」のコピー（表・裏両面）および身分証明書（パスポート）のコピー ・「在留カード」は、表・裏両面のコピーを提出してください。これに加えて、身分証明書（パスポート）の写真が掲載されたページも提出してください（有効期限に注意をしてください）。在留資格を有していない場合は、パスポートのコピーのみ提出してください。	×	×	○
原本	翻訳公証書	×	×	△

※出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

7. 受験票の送付

- ① 出願受付後、志願票 No. 1 に記載された住所宛に受験票を送付します。
- ② 試験日間近になっても受験票が届かない場合は、当研究科事務所までお問い合わせください。
- ③ 受験票は、入学後、学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

8. 試験科目・試験方法

一般入試、外国学生入試

※外国学生入試受験者は「外国語」の筆記試験は免除されます。ただし、日本語能力試験・日本留学試験「日本語」のスコアを、外国語科目の得点に調整して利用します。

※英語教育専攻は「外国語」の筆記試験はありません。

【辞書・事典・資料類の持ち込みは全て不可とします】

専 攻	試験会場：早稲田キャンパス 16 号館 教育学部校舎			
	第 1 次 試 験			第 2 次 試 験
	9 月 22 日(土) 9:00～11:00		9 月 22 日(土) 11:40～12:40	9 月 23 日(日) 10:00～
	専 門 科 目		外 国 語	口 述
	共 通	選 択		
学校教育専攻	教育学	◇教育学 ◇社会教育学 ◇教育心理学 ◇初等教育学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち母語以外の1カ国語選択	主として専攻にかかわる分野についてのこれまでの研究課題および研究計画について ※英語教育専攻については、状況により英語での口述もありうる。
国語教育専攻	現代および古典の文章の読解	◇国語科教育 ◇日本語学 ◇古典文学 ◇中国古典文学 ◇近代文学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち母語以外の1カ国語選択	
英語教育専攻	英語教育 英語	◇英語科教育 ◇英語学 ◇イギリス文学 ◇アメリカ文学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。	—	
社会科教育専攻	社会科教育	◇歴史学 ◇地理学 ◇政治学 ◇経済学 ◇社会学 ◇メディア・コミュニケーション学 の中から、受けようとする研究指導に該当する問題を選択すること。 なお、社会科教育の研究指導を受けようとする人は、上記の科目の中から任意の1問を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち母語以外の1カ国語選択	
数学教育専攻	線型代数 微分積分	◇数学科教育 ◇代数学 ◇解析学 ◇幾何学 ◇情報数学 ◇トポロジー の中から、任意の2問を選択すること。	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語のうち母語以外の1カ国語選択	

【選択する外国語は、出願の際、志願票 No. 1 の受験外国語欄に記入してください（英語教育専攻・外国学生以外）】

特別選考制度入試

【辞書・事典・資料類の持ち込みは全て不可とします】

専 攻	第 1 次 試 験	第 2 次 試 験
	9 月 22 日 (土) 9:00～10:30	9 月 23 日 (日) 10:00～
学校教育専攻	小論文	主として専攻にかかわる分野についてのこれまでの研究課題および研究計画について口述試験を行います。 ※英語教育専攻については、状況により英語での口述もありうる。
国語教育専攻		
英語教育専攻		
社会科教育専攻		
数学教育専攻		

9. 試験期日および合格者発表日

入試区分	第 1 次 試 験		第 2 次 試 験	
	試験日	発表日	試験日	発表日
一 般 入 試	9 月 22 日 (土)	9 月 22 日 (土) 【注 1】	9 月 23 日 (日)	9 月 26 日 (水)
外国学生入試				
特別選考制度入試	9 月 22 日 (土)	— 【注 2】		

【注 1】「一般入試・外国学生入試」の第 2 次試験は、第 1 次試験合格者のみ受験することができます。

【注 2】「特別選考制度入試」は第 1 次試験合格者発表を行いません。

第 1 次試験受験者は必ず第 2 次試験も受験してください。

10. 試験会場

入試区分	試験会場
一 般 入 試	早稲田キャンパス 16 号館 教育学部校舎 試験教室(第 1 次試験・第 2 次試験ともに)は、試験当日に 16 号館 2 階入口に掲示します。
特別選考制度入試	
外国学生入試	

11. 合格者発表場所および時間

入試区分	発表場所・時間	
	第 1 次試験	第 2 次試験
一 般 入 試	- 当研究科事務所掲示板(16 号館 2 階)に 19:00 発表※ - 同時刻に当研究科ウェブサイト上に発表 https://www.waseda.jp/fedu/gedu/	- 合格者発表日に「合格者受験番号表」を受験者全員に速達郵便で発送します。なお、正式な合格者発表は上記によるものとしませんが、補助的な手段としてウェブサイトによる合格者発表も行います。合格者発表日の 10:00 に教育学研究科ウェブサイトにも合格者受験番号を掲載します。 https://www.waseda.jp/fedu/gedu/ - 合格者には「合格証明書」を発送します。
外国学生入試		
特 別 選 考 制 度 入 試		

※夏季休業期間のため 18:00 に閉門します。受験後は構内に残らず退構してください。18:30 以降、通用門で受験票を提示の上、再入構し、掲示を確認してください。また、掲示確認後は速やかに退構してください。

1 2. 受験上の注意事項

- ① 受験生は各科目の試験開始 15 分前には試験場に入場してください。
- ② 試験場には受験票・筆記具を持参し、受験票は机上に置いてください。
- ③ 筆記具は黒（HB）の鉛筆またはシャープペンシルとします。
- ④ 第 1 次試験日の第 1 時限目の試験開始後 20 分を経過してからの入場は一切認めません。
- ⑤ 第 2 次試験日の試験開始後 20 分を経過してからの入場は一切認めません。
- ⑥ 合格者発表は、送付する「合格者受験番号表」、ウェブサイトにより確認してください。（電話による可否に関する問い合わせには応じません）
- ⑦ 試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。
- ⑧ 試験時間中に使用を認めない物品の一例を以下に示します。

物品	備考
携帯電話、PHS、スマートフォン、タブレット、腕時計形端末等の通信機能のある機器	時計としての使用も認めません。必ず電源を切ってかばんにしまってください。
電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・IC レコーダー等の電子機器	必ず、電源を切ってかばんにしまってください。
耳栓	試験監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます
鉛筆・シャープペンシル以外の筆記用具（ボールペン、蛍光ペン、赤ペン等）、筆箱	
帽子等	フードの着用も認めません。

諸事情により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科事務所にお問い合わせください。

また、大きな病気やけがのため、受験および就学に支障をきたす恐れがある方についても、それが万一出願後に起こった場合でも、速やかにお問い合わせください。

1 3. その他受験に際しての重要事項

(1) 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
2. 次のことをすると不正行為となることがあります。
 - ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ、使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わるなど）。
 - ② 筆記試験において、使用を認められていない物品を使用して問題を解くこと。
 - ③ 筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
 - ④ 筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
 - ⑤ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ⑥ 試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
 - ⑦ 試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑧ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑨ 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑩ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑪ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・別室での受験を求めること。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

(2) 早稲田大学入学試験実施に際して

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。

あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。
- ②試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、鳴動を停止させ、試験本部で保管することがあります。
- ③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

Ⅲ. 入 学 手 続

1. 手続書類の交付

入試区分	書類交付方法
一 般 入 試	2019 年 2 月上旬に、志願票 No. 1 に記載された現住所へ発送します。
特別選考制度入試	
外国学生入試（国内出願）	
外国学生入試（国外出願）	2018 年 1 1 月上旬に、志願票 No. 1 に記載された現住所へ発送します。

2. 入学手続期間・方法

所定の入学金・学費・諸会費を振り込んだうえで、以下締切日までに入学手続書類を郵送してください。
詳細は入学手続書類交付時にお知らせします。

入試区分	入学手続締切日
一 般 入 試	<u>2019 年 2 月 2 0 日 (水) (消印有効)</u>
特別選考制度入試	
外国学生入試（国内出願）	
外国学生入試（国外出願）	<u>第一次:2018 年 1 2 月 7 日 (金) (必着)</u> <u>第二次:2019 年 2 月 2 0 日 (水) (必着)</u>

3. 入学手続に必要な書類

- ① 誓約書・保証書（当学所定用紙）
- ② 住民票記載事項証明書（当学所定用紙）もしくは住民票 ※外国籍の方は「住民票」
- ③ 出身大学の卒業証明書および成績証明書 **（出願手続の際、卒業年度までの成績が証明されているものを提出している場合は再度提出する必要はありません。）**
- ④ 学費等振込領収証
- ⑤ 在留資格認定証明書申請書類 **（外国籍の方のうち、国外出願者のみ） 下記（※）も参照のこと**
- ⑥ その他必要とする書類は入学手続書類送付時お知らせします。

（※）在留資格認定証明書申請について

当学へ入学を許可された外国籍学生は、在留資格「留学」を取得することができます。日本に入国するため、在留資格を申請するには、まず日本国内の法務省入国管理局に「在留資格認定証明書」を申請する必要があります。早稲田大学では入学手続を完了した国外出願の外国籍学生に限り、本人に代わって入国管理局に「在留資格認定証明書」の代理申請を行います。代理申請後、「在留資格認定証明書」が入国管理局より早稲田大学に交付されましたら、早稲田大学から申請者に郵送いたします。「在留資格認定証明書」を受け取った後は、パスポートとともに日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。「在留資格認定証明書」の交付には1～2ヶ月の時間を要しますので、入学手続時に、必要書類を教育学研究科まで送付してください。必要書類は合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

4. 入学手続きに必要な入学金・学費・諸会費【ご参考】 ※変更が生じた場合は、決定次第 HP に掲載します。

2019 年度 入学金・学費・諸会費

(単位：円)

専 攻	納入期	入学金	学 費		諸会費		合 計	年度 納入額
			授業料	演習料	学生健康増進互助会費	教育会費		
学校教育専攻 国語教育専攻 英語教育専攻 社会科教育専攻	入学時 (春学期)	200,000	312,000	1,500	1,500	250	515,250	830,500
	秋学期	—	312,000	1,500	1,500	250	315,250	
数学教育専攻	入学時 (春学期)	200,000	481,000	1,500	1,500	250	684,250	1,168,500
	秋学期	—	481,000	1,500	1,500	250	484,250	

- (注意) 1. 当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入学的場合、入学金が免除されます。
 2. 修士課程学校教育専攻は、教育訓練給付金の支給対象となります。
 3. 第2年度の授業料・教育環境整備費・演習料・実験演習料・学生健康増進互助会費・教育会費は、次のとおりです。

専 攻	学期	学 費		諸会費		合 計	年度 納入額
		授業料	演習料	学生健康増進互助会費	教育会費		
数学教育専攻 以外の専攻	春学期	412,000	1,500	1,500	250	415,250	830,500
	秋学期	412,000	1,500	1,500	250	415,250	
数学教育専攻	春学期	581,000	1,500	1,500	250	584,250	1,168,500
	秋学期	581,000	1,500	1,500	250	584,250	

4. 実験実習を伴う下記科目を受講する場合は実験実習料を別途納めなければなりません。(予定)
 学校教育専攻 初等教育学演習、特別支援教育学演習、臨床心理学演習、教育評価・測定演習、障害・神経心理学演習、学校心理学演習、発達・教育心理学演習 15,000 円
 社会科教育専攻 社会科教育研究指導(池)、地理学研究指導(久保、箸本、山内)10,000 円
 共通選択科目 教育工学及び実習 2,000 円
5. 演習料、実験演習料、諸会費は改定されることがあります。
6. 標準修業最終学年の秋学期に、校友会費(40,000 円)が加算されます。ただし本学出身者で納入済の方は除きます。

一度提出した書類および納入した入学金、学費・諸会費(春学期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(春学期分)のみ返還の対象となります。また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、既に納入した入学金、学費・諸会費(春学期分)を入学希望研究科に振り替えることができます。(入学手続き期間が全く重ならない研究科間に限られます。) 手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続きの手引き」をご参照ください。

・合格者または学費負担者が海外に在住して、かつ、海外から登録料(入学金相当額)・学費・諸会費を支払う場合、クレジットカードで支払うことができます。別紙「早稲田大学 クレジットカードでの入学時納付金支払方法」を参照のうえ、パソコンよりインターネット上の支払いサイト(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスして所定の申込手続をしてください。

・事務手数料が別途かかります。

・使用できるクレジットカードは VISA、MasterCard のみです。

・「収納証明書」や決済画面のコピーなどを提出する必要はありません。

・必ず支払期間内に納入してください。支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。

・支払いに使用するカードは合格者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず合格者本人の情報を記入するようにしてください。

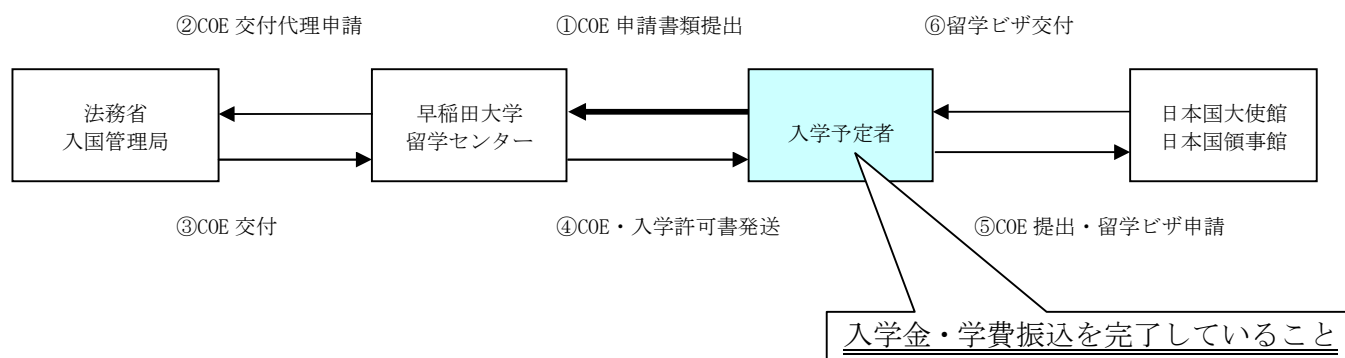
【外国学生入試＜国外出願＞の方へ】在留資格「留学」の取得について

当学への入学を許可された外国人学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、留学生対象奨学金(外国人留学生授業料減免等)申請等各種留学生対象の補助制度を利用することができます。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。また、「短期滞在」の在留資格で当学に在籍することはできません。

(1) 日本の在留資格を有していない場合(日本に居住していない者)

1. 当学への入学を目的として日本に入国するには、まず日本国内の法務省入国管理局に在留資格「留学」の「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。所定の入学手続のうち、入学金・学費の振込が完了した外国籍者について、留学センター(E-mail : cie-zairyu@list.waseda.jp)で代理申請を行います。必要書類を 2018年12月7日(金)まで(必着)に、書留便(国際スピード郵便等)で送付してください。必要書類等詳細は、【在留資格認定証明書(COE)の代理申請方法】を参照してください。「在留資格認定証明書」の審査には1～2ヵ月の時間を要しますので、振込締切日にかかわらず、速やかに入学金・学費の振込を済ませ、早めに申請することを推奨します。
2. 「在留資格認定証明書」が交付されたら、申請者にお送りします(日本国外住所に限る)。「在留資格認定証明書」の発行日から3ヵ月以内に、居住国の日本国大使館・領事館でパスポートとともに提示して「留学」ビザ(査証)を取得し、渡日してください。
3. 「在留資格認定証明書」を送付する際、入学許可書もお送りします。
4. 当学が代理申請する在留資格は「留学」です。その他の在留資格を申請する場合は、ご自身で申請を行ってください。

<留学ビザ取得までの流れ(①→⑥)>



【在留資格「短期滞在」で滞在している者について】

在留資格「短期滞在(観光)」(査証免除の場合も含む)で入国した場合、原則として日本国内で「留学」へ在留資格を変更することは認められていません。一度出国し、日本以外の国の日本国大使館・領事館に在留資格認定証明書を提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。

やむを得ない理由で、新学期までに再度、帰国が難しい場合等は、速やかに当学留学センター(E-mail : cie-zairyu@list.waseda.jp)までご相談ください。

(2) 日本の在留資格を有している場合(日本に居住している者)

1. 在留資格「留学」を有している場合

在留期限に応じて「在留期間更新許可申請」をご自身で行ってください。手続に関する詳細は、留学センター・在留資格ホームページ TOP > ビザ・在留資格について > 在留期間更新許可申請について (<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/current/extvisastatus.html>)を参照してください。在留期間更新は期間満了日の3ヵ月前から当日まで申請できます。

日本国内に所在する日本語学校在籍者で、日本語学校の出席・成績が不良の場合、当学への入学が許可されても法務省入国管理局により在留資格が付与されないことや、在留資格の期間更新・変更等が許可されない場合がありますのでご注意ください。

2. 「留学」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」等の在留資格を有している場合は、特に手続の必要はありませんが、留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。

「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更許可申請」を行ってください。手続に関する詳細は、留学センター・在留資格ホームページ TOP > ビザ・在留資格について > 在留資格変更について (<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/current/changevisastatus.html>)を参照してください。

① 入学許可書について

当学への入学が決まった後、入学日までに在留資格の変更を希望する場合、入学許可書が必要です。入学許可書は、入学予定の学部・研究科で発行します。入学許可書の発行には、入学金・学費振込が完了している必要がありますので、速やかに振込を済ませ、入学予定の学部・研究科に発行を依頼してください。

② 在留資格期間更新許可申請書および在留資格変更許可申請書について

申請書には、当学の印が必要です。法務省入国管理局に申請する前に、在留期間資格変更許可申請書と入学許可書を持参して留学センター(早稲田キャンパス 22 号館 4 階)窓口にお越しください。東京近郊に居住していない等の理由で留学センター窓口にお越しになれない場合は、留学センター(E-mail: cie-zairyu@list.waseda.jp)までお問い合わせください。

【在留資格認定証明書(COE)の代理申請方法】

申請書類送付住所

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-7-14-4F
早稲田大学留学センター「在留資格代理申請」係

問い合わせ先

E-mail : cie-zairyu@list.waseda.jp

申請書類送付締切日：2018年12月7日(金)【郵送必着】

※「在留資格認定証明書」の審査には2～3ヵ月の時間を要しますので、締切日にかかわらず、
入学金・学費振込を速やかに完了し、早めに申請することを推奨します。

※書類の様式は、記載されている URL からダウンロードしてください。

＜「在留資格認定証明書」の申請に必要な書類＞

1. 在留資格認定証明書交付申請書(5枚、写真1枚貼付)

※所定用紙は以下のホームページからダウンロードしてください。

http://web.waseda.jp/admission/wp-content/uploads/2013/03/COE_application1.pdf

※必ず以下ホームページの記入例を参照し、もれなく記入してください。

http://web.waseda.jp/admission/wp-content/uploads/2013/12/coe_application_sample.pdf

2. パスポートのコピー(顔写真のあるページ)

3. 在留資格認定証明書代理申請依頼書(次ページ参照)

4. 在留中の経費支弁能力を証する文書

《在留中の経費を本人が負担する場合は、下記のいずれかを提出》

①預金残高証明書の原本(本人口座の証明書、日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること。翻訳公証は必要ありません。)

②奨学金受給証明書の原本(当学入学後に奨学金の受給が決定している方のみ)

《在留中の経費を本人以外(経費支弁者)が負担する場合》

①預金残高証明書の原本(経費支弁者口座の証明書、日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること。翻訳公証は必要ありません)

②奨学金受給証明書の原本(当学入学後に奨学金の受給が決定している方のみ)

③経費支弁書(支弁者が記入。日本語または英語で作成)

※所定用紙は以下のホームページからダウンロードしてください。

http://web.waseda.jp/admission/wp-content/uploads/2013/12/defrayers_expense.pdf

【注意】

- 留学センターが代理申請を行う在留資格は「留学」です。その他の在留資格を申請する場合は、ご自身で法務省入国管理局に申請してください。
- 必要に応じて、法務省入国管理局から追加書類を要求されることがあります。
- 事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、理由書(書式自由)とともに至急「在留資格認定証明書」を留学センターへ返送してください。また、他大学へも合格した場合、「在留資格認定証明書」の交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、証明書は交付されません。
- 重国籍者で日本国籍を有する場合は、「在留資格認定証明書」を申請できません。
- 在留資格審査は法務省入国管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、当学は一切の責任を負いません。

＜在留資格認定証明書代理申請依頼書＞

◎下記書類をすべて同封のうえ、書留便(国際スピード郵便等)を利用して早稲田大学留学センターへ送付してください。

【在留資格認定証明書】の申請に必要な書類 * 同封した書類に☑チェックをしてください。

☐ ①在留資格認定証明書交付申請書(5枚、写真1枚添付)

http://web.waseda.jp/admission/wp-content/uploads/2013/03/COE_application1.pdf

※必ず、申請書記載例を確認してください。

http://web.waseda.jp/admission/wp-content/uploads/2013/12/coe_application_sample.pdf

☐ ②パスポートのコピー(顔写真のページ)

☐ ③在留資格認定証明書代理申請依頼書(本様式)

☐ ④在留中の一切の経費の支弁能力を証する文書(前ページ参照)

宛先

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-7-14-4F

早稲田大学留学センター

「在留資格代理申請」係

問い合わせ先

E-mail: cie-zairyu@list.waseda.jp

氏 名 (漢字) Name in Chinese character if any	
氏 名 (カタカナ) Name in Katakana if known	
氏 名 (英文) Name in English	
住 所 (日本語) (郵便番号を忘れずに) Address in Japanese with Zip Code	国名:
住 所 (英語) (郵便番号を忘れずに) Address in English with Zip Code	Country:
在留資格認定証明書の送付先 (日本国外住所及び受取人) Mailing Address of the recipient of COE	住所(英語) Mailing Address in English 受取人(英語) Recipient's name in English
電話番号 Phone number	
携帯電話 Cellular Phone number	
E メールアドレス E-mail address	
入学予定学部/研究科 Faculty/Graduate School	
受験番号(学部入学者のみ) Identification number (Only for undergraduates)	
入試制度 Type of admission	

[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]

1. 概要

当学学部または研究科への入学を希望する出願者が、当学が指定する国に居住しかつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて検定料を免除します。

2. 対象者

次の条件を全て満たす場合。

- 1) OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

＊対象国は下部参照。

＊日本国内に居住する場合は対象外とします。

- 2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当している必要があります。

3. 手続

当学学部または研究科を志願する際、出願書類として提出をもとめている検定料収納証明書（海外送金依頼書のコピーなど）の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

- 1) 検定料免除措置申請書（所定様式）当研究科HPからダウンロード

- 2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

＊本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。なお、本免除申請を行う前に支払ってしまった場合には、検定料の返還は行いません。

＊万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

[対象国/Eligible Countries]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンディ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

提携金融機関（オリコ・セディナ・楽天銀行）による 「早稲田大学学費ローン（入学時）」

当学には、(株)オリエントコーポレーション（以下オリコ）、(株)セディナ、楽天銀行(株)と提携した「早稲田大学学費ローン制度」があり、入学時納入金に利用することができます。

本学費ローン利用にあたっては、自己責任のもと、申込期日や手続期日等の日程に注意し手続きをしてください。
なお、審査結果により、利用できない場合があります。

■学費ローン（入学時）の概要

対象者	当学入学予定者の保護者、および入学予定者本人（満 20 歳以上） ※外国人留学生は利用できません。 ※審査結果により、利用できない場合があります。
対象費用	入学時の大学宛納入金額（登録料（入学金相当額）および学費等（春学期分））
分割払手数料率（実質年率）	提携金融機関により異なります。
入金方法	利用金額は提携金融機関から当学へ直接入金されます。※利用者への入金はありません。

■利用手順

早稲田大学奨学課のホームページ（<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>）に、**学費ローンのインターネット申込用ページを公開**しています。申込期日・申込方法・手続等の詳細はこちらをご覧ください。

■返済方法

原則本学費ローン利用の翌月より、指定口座から自動振替されます。返済方式は提携金融機関によって異なります。

■問い合わせ先

株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク （営業時間 9：30～17：30 土日・祝日も対応可） 〒102-8503 東京都千代田区麹町 5 丁目 2 番地 1 Tel. 0120-517-325 Fax. 052-231-3911
株式会社セディナ東京営業部 早稲田大学サポートデスク （営業時間 9：30～17：30 土日、祝日を除く） 〒160-8322 東京都新宿区西新宿 3 丁目 6 番地 11 西新宿 KS ビル 5F Tel. 0120-757-766 Fax. 03-3346-1243
楽天銀行株式会社 教育ローン専用ダイヤル （受付時間 平日 9：00～20：30 土日祝日 10：00～17：30） 〒158-0094 東京都世田谷区玉川 1-14-1 楽天クリムゾンハウス Tel. 0120-61-6910 ※必要書類の送付は原則スマートフォンアプリでの提出となります。郵送も可。

IV. 募集研究指導一覧・研究指導の内容

1. 募集研究指導一覧

★印の研究指導は、2021 年 4 月 1 日以降は退職に伴い廃止となります。

[学校教育専攻]

教育学研究指導	教	授	博士(教育学)早大	藤井	千春
教育史研究指導	教	授	博士(教育学)青学大	湯川	次義
教育哲学研究指導	教	授	博士(教育学)慶應大	坂倉	裕治
学校経営学研究指導	教	授		菊地	栄治
比較教育学研究指導	教	授		長島	啓記
教育行財政学研究指導	教	授	博士(学術)神戸大	小松	茂久
教育工学研究指導	教	授		三尾	忠男
初等教育学研究指導	教	授	博士(心理学)筑波大	河村	茂雄
初等教育学研究指導	教	授	博士(教育学)早大	佐藤	隆之
初等教育学研究指導	教	授		小林	宏己
発達・教育心理学研究指導	教	授	博士(教育学)東京学芸大	上淵	寿
臨床心理学研究指導	教	授	博士(医学)筑波大	堀	正士
教育評価・測定研究指導	教	授	博士(文学)早大	椎名	乾平
障害・神経心理学研究指導	教	授	博士(医学)浜松医科大	坂爪	一幸
学校心理学研究指導	教	授	Ed. D. (コロンビア大)	本田	恵子
特別支援教育学研究指導	教	授	博士(教育学)筑波大	梅永	雄二
教育社会学研究指導	教	授	博士(教育学)東大	吉田	文
社会教育学研究指導	教	授	博士(教育学)早大	小林	敦子
社会教育学研究指導	教	授	博士(教育学)早大	前田	耕司
社会教育学研究指導	教	授	博士(教育学)早大	矢口	徹也

[国語教育専攻]

国語科教育研究指導	教	授	博士(教育学)早大	幸田	国広
国語科教育研究指導	教	授	博士(教育学)早大	町田	守弘
日本語学研究指導	教	授		松木	正恵
国文学研究指導	教	授	博士(文学)早大	松本	直樹
国文学研究指導	教	授	博士(文学)早大	新美	哲彦
国文学研究指導	教	授	博士(文学)早大	福家	俊幸
国文学研究指導	教	授	博士(文学)早大	大津	雄一
国文学研究指導	教	授	博士(人文科学)お茶の水女子大	田渕	句美子
国文学研究指導	教	授	博士(文学)早大	中嶋	隆
国文学研究指導	教	授	博士(文学)早大	内山	精也
国文学研究指導	教	授	博士(学術)早大	堀	誠
国文学研究指導	教	授		石原	千秋
国文学研究指導	教	授		金井	景子
国文学研究指導	教	授	博士(文学)早大	和田	敦彦

[英語教育専攻]

英語科教育研究指導	教	授	Ph. D. (ダーラム大)	折井	麻美子
英語科教育研究指導	教	授	Ph. D. (カリフォルニア大)	澤木	泰代
英語科教育研究指導	教	授	Ph. D. (カリフォルニア大)	原田	哲男
英語科教育研究指導	教	授	博士(学校教育学)兵庫教育大	クイント=オカ=ボールト=ウイン	
英語学研究指導	教	授	Ph. D. (ハーバード大)	久野	正和
イギリス文学研究指導	教	授	博士(文学)名古屋大学	木村	晶子
アメリカ文学研究指導	教	授	Ph. D. (テキサス大オースティン校)	石原	剛

[社会科教育専攻]

社会科教育研究指導	教	授	博士(学術)早大	池	俊介
社会科教育研究指導	教	授	博士(教育学)東大	近藤	孝弘
歴史学研究指導	教	授	博士(文学)早大	高木	徳郎
歴史学研究指導	教	授	博士(文学)早大	大橋	幸泰
歴史学研究指導	教	授	博士(文学)早大	石濱	裕美子
歴史学研究指導	教	授	博士(文学)東大	小松	香織
歴史学研究指導	教	授	博士(歴史学)ナソ大	堀越	宏一
歴史学研究指導	教	授		小森	宏美
地理学研究指導	教	授	博士(理学)都立大	久保	純子
地理学研究指導	教	授	博士(学術)東大	箸本	健二
地理学研究指導	准教	授	博士(学術)東大	山内	昌和
政治学研究指導	教	授		遠藤	美奈
経済学研究指導	教	授	Dr. rer. pol (ボン大)	藁谷	友紀
経済学研究指導	教	授		熊谷	善彰
社会学研究指導	教	授	博士(社会学)東大	若林	幹夫
メディア・コミュニケーション学研究指導	教	授		伊藤	守
メディア・コミュニケーション学研究指導	教	授		野中	章弘

[数学教育専攻]

数学科教育研究指導				瀧澤	武信
(教育情報・評価)	教	授		新井	仁之
解析学・応用解析学研究指導	教	授	博士(理学)早大	広中	由美子
代数学研究指導	教	授	理学博士(筑波大)	村井	聡
代数学研究指導	准教	授	博士(理学)大阪大	小森	洋平
幾何学研究指導	教	授	博士(理学)京都大	横森	貴★
情報数学研究指導	教	授	理学博士(東大)	小柴	健史
情報数学研究指導	教	授	博士(理学)東工大	谷山	公規
トポロジー研究指導	教	授	博士(理学)早大		

2. 研究指導の内容

[学校教育専攻]

教育学研究指導

藤 井 千 春

デューイをはじめアメリカのプラグマティズムの思想哲学を学び、それを手がかりとして各自の修士論文の作成に向けての準備作業を進める。受講者が順番に論文を発表し、相互に質問や意見交換を行うことを通じて、各自の研究を深める。

教育史研究指導

湯 川 次 義

教育の現実には歴史に規定されており、現実を深く理解するためにはその課題についての的確な歴史的知識を欠くことはできない。このような観点から、この研究指導は、近代以降の日本の教育政策・制度、学校教育、生徒、教師、教育実践などについて、史的に研究する学生を対象としている。日本における女性の高等教育の歴史を題材として研究視点の設定法や研究方法を学ぶ中で、各自の関心に基づく研究課題を発展させ、修士論文としてまとめるよう指導していきたい。

教育哲学研究指導

坂 倉 裕 治

教育哲学は危機管理の学である。教育諸学を深めようとする学生、教職をめざす学生の双方にとって、予想外の困難を解決するためにとるべき思考の手順についての認識を磨くことが重要である。研究職をめざす学生には、文献研究において最低限守らなければならない作法・手続きを習得するための支援、文献研究に必須の外国語の運用能力向上のための支援を柱として指導する。留学や海外の研究機関と連携した研究活動についても支援する。

学校経営学研究指導

菊 地 栄 治

学校経営学の研究指導においては、学校をめぐる諸課題の現状と構造を理論的・実証的に考究し、「場としての学校」や当事者をエンパワーするための理論構築を試みる。参加院生とともに、これまでの学校経営研究の成果をふまえつつ、臨床性、関係論、ケアリング、当事者主義、公共圏、同僚性などを鍵概念としながら学校経営研究の「ニューフロンティア」を創生していきたい。

比較教育学研究指導

長 島 啓 記

各国の教育や国際機関における教育等に関連する研究を行う者を対象に、修士論文の作成に向けた指導を行う。各自の研究課題・テーマを、先行研究の吟味、関連資料の収集と分析、比較という方法の検討と適用を通して、より明確なものにする。

教育行財政学研究指導

小 松 茂 久

教育行財政学のアプローチは法学、政治学、行政学、財政学の方法など多様である。本研究指導は参加学生の関心に応じ、適宜、関連のアプローチや研究例、実践例を紹介しながら、個別に指導を進める。また教育行財政学は実践科学でもあるという観点から、現実の教育問題を政策科学的に分析・検討していく手法を身につけるよう努めたい。

教育工学研究指導

三 尾 忠 男

教育工学は、教育過程をシステムとして捉え、諸課題を分析し、工学的なアプローチで目標達成や問題解決を目指す分野である。この研究指導では、参加学生の教育や学習に関するテーマについてそれぞれの教育システムの要素を分析し問題点を明確化し、最適なシステムを追求する研究方法を指導する。現在、教師教育のあり方と教育におけるICT活用、高等教育におけるFDの実践について関心をもっている。

初等教育学研究指導

河 村 茂 雄

担当者の研究テーマは、人間の教育・発達を促進する人間関係、集団体験のあり方をカウンセリング心理学の立場から明らかにしていくことである。したがって、研究テーマは、児童期・初等教育学を直接対象とするものだけでなく、教育・発達に関する全領域をその対象とするが、実証的研究であることが条件である。そして、各自のテーマに応じたデータの収集・分析、論文作成の指導を行う。関連する機関での臨床活動も奨励したい。

初等教育学研究指導

佐 藤 隆 之

初等教育、その前後の就学前教育や中等教育、公教育などの理念・思想・歴史に関わる研究指導を行う。それぞれの研究や関心を考慮しながら、古典、原典、研究書、研究論文を取り上げて講読し、主に教育思想研究や教育史研究の手法について習得する。それをふまえて、研究テーマや問題の設定、史資料の検索・収集と読解、論文の構想、研究計画の立案などについて助言し、修士論文の作成を支援する。担当者はこれまで、新教育とその系譜に立つ思想やそれに基づく実践史について研究してきた。新教育は、「子ども中心」をスローガンとして、教育、学校、子ども、教える、学ぶ、経験、思考といった概念を捉え直し、新奇で独自性の高い多様な改革を実践に移すことで、学校制度や組織、教授法、カリキュラムなどに影響を与え続けている。「進歩主義（新教育）」、「子ども中心」、「経験主義」などに関する多様な主張や解釈について学びながら、現在求められている、個に応じた教育の理念と方法、能動的・主体的な学びの原理、プロジェクト型教育の理論と実践などについて理解を深めたい。

初等教育学研究指導

小 林 宏 己

教育方法論の立場から、「授業分析と授業構成」「協同的な学び」「学級づくりと授業づくりの統一」「就学前教育と小学校教育の接続・連携」「小・中学校の連携・一貫教育」「校内授業研究の改革」「教師のライフステージと教員研修」など、授業研究と教職専門性に関する問題を中心にして、授業の実践と省察を高度化する学校教育の在り方を考察する。授業の実践においては、各自の研究課題と整合させながら具体的な研究事例を取り上げ探究するとともに、教科・学級・学校における学習指導、カリキュラム、教員研修等に資する実践的な課題も尊重し、研究論文作成に向けた指導を行う。

発達・教育心理学研究指導

上 淵 寿

発達心理学(特に感情、愛着、自己、およびこれらの適応の問題)と教育心理学(特に学習動機づけと学習方略)に関する研究指導を行います。受講者が修士論文を作成するために必要なアイディアの発表などや討論なども行うことがあります。

さらに、ミニ修論を節目節目で提出してもらいます。これは、研究や論文執筆を指導教員がきちんと評価するためであり、また受講者が時期を経るごとに、修論をより良いものに発展させていくためです。

臨床心理学研究指導

堀 正 士

この研究指導では臨床心理学、臨床精神医学に関したテーマを幅広く扱っている。指導教員は思春期・青年期のこころの問題と教育、アスリートにおける精神的問題、産業保健における精神的問題などに造詣が深い。このようなテーマに沿って修士論文のための研究を行う学生のための研究指導である。

教育評価・測定研究指導

椎 名 乾 平

心理学の立場から、評価・測定問題について考える。具体的には

- 1) 狭義の測定論(心理学的尺度、テスト理論、統計的データ解析等)
- 2) 認知心理学的心理モデル(ニューラルネットモデル、数理モデル)とその実験的検証であるが、データ解析指向というよりもデータが生成される心理プロセスの解明に重点を置く。また
- 3) 評価の社会的側面(偏差値問題、学力・選抜問題、進路指導、カリキュラムの評価等々)についての実証的研究もスコープにはいるであろう。

障害・神経心理学研究指導

坂 爪 一 幸

人間の示す「障害」を通じて、人間存在の本質と人間形成の問題を考える。小児・成人・高齢期の発達性・獲得性の「障害」(発達障害・高次脳機能障害・認知症など)から心と脳の関係や心の構造を理解し、治療・教育の理論的・実践的な問題を考える。主に(1)「障害」の理解と治療・教育、(2)「障害」児・者の心理・価値的問題、(3)「障害」児・者と社会、(4)脳・神経科学(神経心理学・高次脳機能障害学)と教育、などの諸領域を研究指導する。

学校心理学研究指導

本 田 恵 子

学校をひとつの有機体と捉え、教職員、児童・生徒、保護者、地域コミュニティの機能を活性化することを目的とした実践的な研究を行う。反社会的行動(いじめ・暴力・非行)、非社会的行動(不登校・ひきこもり)、および軽度発達障害児に対する理論的理解を元に、啓発教育、危機介入、個別対応に対する心理教育的アセスメント力および個別指導計画の立案実施ができる実践的な研究指導を行う。

特別支援教育学研究指導

梅 永 雄 二

自閉スペクトラム症を中心とする発達障害児者の社会参加・職業的自立について臨床活動および研究を行っている。

自閉スペクトラム症については、米国ノースカロライナ大学で実施されている TEACCH(Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children)プログラムをベースにアセスメント、学校コンサルテーション、職業リハビリテーション支援など行っている。基本は幼児期から成人期に至るトータルサポートにおける臨床心理学的アプローチに重点を置いている。

教育社会学研究指導

吉 田 文

教育を社会に位置づける政策や制度、学校に代表される教育を行う場、教育に関わる多様な人、これらが社会のなかでどのようなメカニズムのもとにあるかを考察するのが、教育社会学である。教育に対し社会学的にアプローチするためには、考え方の枠組み(各種の理論)と分析の道具(量的・質的な調査方法)が必要である。この2つを確実に習得することを研究指導の主眼とする。これは、各人の研究関心を自分で深めていけるようになることを目的としたときの、基礎固めの位置づけをもつ。

社会教育学研究指導

小 林（新保） 敦 子

本研究指導は、各自のテーマに即した修士論文作成のための基礎作業を行うことを目的とする。その方法論としては徹底した実証的アプローチにこだわり、社会調査法、とりわけ質的調査法について学んでいく。

また今日の社会教育が抱えている諸課題に、理論と実践の両面から迫り、合わせて諸外国、特にアジア各国の教育や社会の現実を比較検討しながら考察を深め、研究の深化を図りたい。

社会教育学研究指導

前 田 耕 司

教育改革および多文化教育・国際理解教育という視点から、諸外国との比較研究を含めて考察する。すなわち、子どもの貧困、ひとり親家庭、教育格差、学力、戦争難民・経済移民や言語・文化・宗教の異なり、南北問題、国際結婚、いじめ問題、不登校、高齢者、しょうがい者家庭など学習の権利にかかわる課題など、修士論文の完成に向けて各々の研究の深化を図りながら、海外におけるフィールドワークや参与観察といった調査方法の体得を通して実証的研究のあり方について模索・検討する。

社会教育学研究指導

矢 口 徹 也

青少年教育、女性教育に関する各自のテーマに即した研究指導を行なう。青少年教育、女性教育は子ども、若者、女性の生活、仕事（就業継続）、家庭、地域、学校、文化等に関する幅広い課題を含むため、多様な観点から教育の役割とその可能性を検討していきたい。修士論文作成にむけた研究の問題意識、内容と方法論について確認し、あわせて基礎的な文献講読を行ないながら、それぞれの研究の深化を図りたい。

[国語教育専攻]

国語科教育研究指導

幸 田 国 広

院生各自の問題意識から、研究テーマの発見に結びつけるために、国語教育の研究領域・研究方法・先行研究事例等を紹介し、実際に演習を通して研究に必要な基礎的事項を習得してくことを目指す。

夏休みを挟んで、修士論文のテーマと研究計画を策定する。

国語科教育研究指導

町 田 守 弘

国語科教育の研究は実践を基盤とする。「明日の授業をどう創るか」という課題と向き合うために、小・中学校と高等学校の実践に即して、学習者論、教材論、授業論を中心とした国語科教育の基本的な事項を取り上げてみたい。広く教育現場の実態を視野に収めながら学習者の現実を的確に把握して、どのような教材をどのように扱うことがいま求められているのかという点を中心に研究を展開する。先行研究および先行実践に十分な目配りをしつつも、常に変容する教育現場の「いま、ここ」を見つめて、新しい時代を生きる学習者にとって価値あることばの教育の在り方を真摯に問い続けたい。

日本語学研究指導

松 木 正 恵

日本語学（国語学）の各領域・分野についての研究指導を行う。日本語史の研究・現代日本語の研究のいずれにおいても、具体的な研究方法を学び、先行研究の適切な把握とその批判に基づいて自らの研究を進めていくことが基本である。また、実際に言語資料を収集・整理・分析し、さらにそれを修士論文にまとめ上げるための技術も必要となる。それらを通して、国語教育・日本語教育の現場で直面する様々な問題に対処できる力を養うことも目標である。

国文学研究指導

松 本 直 樹

『古事記』『日本書紀』『風土記』『万葉集』『日本霊異記』などの作品に代表される上代文学および関連する古典教育分野の修士論文作成にむけた研究指導を行う。

国文学研究指導

新 美 哲 彦

平安時代における散文と後世の受容を中心に研究指導を行う。具体的には、物語文学・日記文学の領域で、ある作品およびその受容作品を分析し、先行研究を精査した上で、各自のテーマに基づいて考察を進め、修士論文を執筆するまでの課程を指導する。

国文学研究指導

福 家 俊 幸

この研究指導は、主として中古の物語・日記・随筆などを取り上げ、その講読を通じ本文・主題・構造・方法などを考究する。

先行研究をいかに踏まえ、いかに自らの論を構築するかを演習授業を通して考える。併せて、受講者の関心に応じて中古文学の教材化の問題も取り上げる。

一方で修士論文作成に向けて各自の研究テーマをまとめるための発表を繰り返し行う。

国文学研究指導

大 津 雄 一

中世文学を研究対象とする人に指導を行う。研究を進める上で必要な基本的な技術と知識を獲得することが、まず必要であり、そのための経験の場を提供したい。しかし、同時に、研究者そして教育者として自立するためには、独自の視線を獲得することもまた必要である。そのために、「文学」に限定されることなく、さまざまな知の領域にも足を踏み入れる機会を提供したい。

国文学研究指導

田 淵 句 美 子

平安時代後半から中世（鎌倉時代～室町時代）における韻文とその周辺を中心に、研究指導を行う。具体的には、和歌文学・日記文学・女房文学の領域で、ある作品を精読して分析し、先行研究を精査し、作者や伝本について調査し、各自のテーマに基づいて考察を進め、自分の知見を磨き上げて、修士論文を執筆するまでの準備と過程を指導する。

国文学研究指導

中 嶋 隆

芭蕉・蕪村・西鶴・秋成・馬琴等に代表される近世文芸の様々な分野、特に浮世草子について、各自のテーマに即して、研究指導を行う。文学史的展望や文化論的視野を明確にしつつ、書誌学、テキスト論、文体・表現論等多様な方法論による多面的研究をめざしたい。特に、文献資料調査と現行の研究状況の把握を徹底し、学会の水準をのりこえるような研究を目標とする。また、国語教育論や比較文学論的観点からの研究も積極的に取り入れていきたい。

国文学研究指導

内 山 精 也

中国における中国古典研究が正常化し、求心力を高めている現状のなかで、日本の関連研究もその存在意義が改めて問われている。日本の伝統的な強みを再認識しつつも、独自性を自覺的に強化する必要に迫られているといっている。このような観点から、われわれはまず足許を見つめる作業から始めなければならないであろう。すなわち、訓読の意義、そして中国古典の受容と再生産等々から今一度考え直す必要がある。その上で、日本人の作った漢詩文に光を当ててゆきたい。それは、研究の独自性を担保するだけでなく、漢文教育の新教材開発へと直結するプロセスとなるであろう。

国文学研究指導

堀 誠

中国の文学作品を研究対象として扱う者、日中比較文学の見地から研究を進めようとする者、「国語」科における『漢文』等の教材・指導について考察しようとする者に対して研究指導を行う。読解力の養成とともに、文学・思想・歴史等の広い視点からの分析、理解、さらに問題点の究明につとめ得る環境を共に作ってゆきたい。かつ「古今兼学」の姿勢を養いたい。

国文学研究指導

石 原 千 秋

修士論文の作成に向けて、幅広く近代文学・現代文学を読む。そのために、ディスカッション、アドバイス、添削を行う。

国文学研究指導

金 井 景 子

修士論文の執筆に向けて、1、対象となる資料体の調査、2、先行研究の批評、3、持論の提示、4、論文の執筆を実施し得るよう支援します。

国文学研究指導

和 田 敦 彦

指導においては、メディアと読者の関係に軸をおきながら、近代の表現について様々な角度から問題にしていきます。文献資料の購読、調査、整理の実践、及び口頭発表やディスカッションを通しての問題意識の明確化、そして幅広い研究方法に対する知識を身につけながら、各自の自身の問題を掘り下げていきます。

[英語教育専攻]

英語科教育研究指導

折 井 麻美子

本研究指導は、英語教授法、教材開発、各技能の指導法（特に発音や聴解指導、スピーキング指導）、外国語習得理論などをテーマとした修士論文執筆に役立つ、データ収集の方法論について学びます。専門テキストとともに、自分の研究テーマに関連する論文を読んでサマリーを作成することを通じて、データ収集手法について深く学びます。

英語科教育研究指導

澤 木 泰 代

本研究指導は、言語テスト研究を中心に応用言語学・英語教育研究に関連する様々なテーマに関する知識と、実証研究の手法を身につけることを目指す。言語テストは、言語の指導、学習との連携により第二言語習得を支えるものである。従って、言語テスト理論、第二言語習得、教育評価などの視点から言語テストについて検討する。また、質的・量的研究手法の両方について基礎を身に付けることで、多角的に研究テーマに取り組めるよう指導する。

英語科教育研究指導

原 田 哲 男

第二言語習得を研究テーマとする。実践に即役立つ指導法を求めるのではなく、外国語学習の理論的側面を重視し、学習・教授上の問題に直面した際に、自分でデータを収集・分析し、原因を探れるようになることを目標とする。修士では、あまり専門的な分野に固執せずに、外国語学習のメカニズムを、母語習得、母語と第二言語との関係、第二言語習得のプロセス、インプット・アウトプット・インタラクションの役割、教室での言語学習、言語以外の要素（学習開始年齢、適性、動機付け）等の観点から考察する。なお、修士論文のテーマは、第二言語習得、外国語教育（英語教育、日本語教育）等の分野であることが望ましい。担当教官の最近の研究動向は、早稲田大学のホームページ（<https://www.waseda.jp/top/>）の右上にあるデータ集の「研究者データベース」をクリックし、「原田哲男」と入力すると検索できる。

英語科教育研究指導

クイント オオガ・ボールドウィン

学校現場に貢献できる指導要因・方法を中心に研究する。初等・中等教育の学習環境、モチベーションとエンゲージメントの関係、または教員がそれぞれの要因に影響を及ぼせる方法を、現場を中心に探れる研究者を養成する。また、学習意欲・動機付けに関する普遍的な理論について指導する。研究法や統計法について興味があることが望まれる。

英語学研究指導

久 野 正 和

生成文法に基づく統語論を中心に指導を行う。基礎的な知識として、Government and Binding Theory と Minimalist Program の初期理論（Chomsky 1995 から Chomsky 2000 まで）に精通していることが望ましいが、不十分な場合は学部で行っている授業を聴講してもらいながら研究指導を行うので心配はいらない。また基礎的な知識が身につけていると自覚している院生に対しても、基礎の再確認と定着のために、学部の授業を聴講することを推奨している。本研究指導では基礎力を徹底的に磨き上げることで、生成文法理論の理解を深め、同時に問題点を発見して修士論文へと無理なく自然に繋がるように指導する。扱う言語は英語に限らず、日本語やロマンス語、スラブ語、ゲルマン語など何でも構わない。また、歴史変化や言語獲得を研究したいという学生も歓迎する。

イギリス文学研究指導

木 村 晶 子

イギリス文学・文化の知識を深め、英文学研究の基礎を固めると同時に、基本的なアカデミック・スキルを確実に習得した上で、完成度の高い修士論文を執筆することを目指します。研究計画の設定、文献収集や先行研究の検討などを含めて、各自の興味を尊重しつつ指導します。担当教員の専門領域はイギリスの小説、特に 18 世紀末からヴィクトリア朝の小説及びジェンダーの視点からの英文学・文化研究ですが、修士論文の指導範囲はそれに限りません。

アメリカ文学研究指導

石 原 剛

将来優れたアメリカ文学・文化研究者として自立できるよう、基礎力の養成を行います。修士課程の学生の最大の目標は、学問的手続きをしっかりと踏まえた修士論文を完成することです。この目標を達成するために、文学作品の読みや文化事象の解釈の仕方、無理のない執筆計画の設定、資料収集や先行研究の調査法、論文テーマの選定、論点整理と論の構築、修士論文につながる研究発表などについて具体的な指導と助言を行います。なお、担当教官の専門分野はマーク・トウェイン研究を中心とした 19 世紀アメリカ文学ですが、アメリカ文学や文化を次のような観点からみることに興味があります。日米比較、米欧比較、子ども、旅、西部、航空、大衆文化、教育、文学史。ただし、研究指導の範囲は担当教官の専門や関心に限りません。

[社会科教育専攻]

社会科教育研究指導

池 俊 介

社会科教育論の諸分野のうち、主として地理教育論に関する指導を行う。近年の地理教育は、「地理的見方・考え方」や「地理的スキル」の重視など、大きな変革を遂げつつある。こうした現代的な課題の検討を重視するが、地誌学習・地理教育史など地理教育論の基礎的な課題についても取組みたい。地理教育論の研究には、教育学・歴史学など地理学以外の諸科学に関する知識や広い視野が求められるが、当然ながら地理学についての基礎的な学識を備えていることが前提とされる。そのため、学部で地理学を専攻していることが望ましい。

社会科教育研究指導

近 藤 孝 弘

公民教育・歴史教育を中心に研究指導を行う。左の二つの領域は、過去と現在の世界を捉える連続した営みであると同時に、それら自身が今日の世界の一部なのであり、その意味でも両者は緊密に結びついている。このように意識的に広い視野を維持することにより、修士論文執筆の支援を中心に、受講生が歴史・文化・国家・社会等の基礎的視点について、より批判的かつ洗練された理解を獲得し、その上で独自の研究成果を残せるように指導する。

歴史学研究指導

高 木 徳 郎

日本の平安時代から戦国時代（10～16 世紀）における政治・経済・社会・文化に関する諸問題を歴史学的に考察する上で必要なスキルを修得するための研究指導を行う。担当者の専門分野は、日本中世の荘園史・村落史および環境史であるが、研究指導は、学生の関心や個性を尊重しつつ、幅広い視野から問題意識と方法論を磨き上げ、着実な史料批判と独自の分析に基づいた、意義ある修士論文の作成に至るまでの指導を行う。なお、どのようなテーマであれ、素材を多角的に検討するための現地調査・史料調査は必須であるので、そうしたノウハウを積極的に吸収してもらいたいと考えている。

歴史学研究指導

大 橋 幸 泰

日本近世史（16C 末-19C 中）の諸問題を材料に、歴史学を専攻するうえで必要な、史料の読解力と研究史の把握力を鍛える。その際、前近代的要素と近代的要素の両方の側面を総合的に捉えることにより、近世の固有性を追究することに力点を置く。とりわけ歴史に向き合う姿勢として、生活者の視点を大事にし、政治・経済・文化の諸相を複眼的に捉える訓練を行う。また、日本近世史を専門としつつも、歴史学の社会的責務についても考えていく。歴史研究者・博物館学芸員・歴史教員など、歴史学を一生の仕事にすることを希望する者の応募を求める。

歴史学研究指導

石 濱 裕 美 子

担当教員の専門分野は 13 世紀から現代に至るまでのチベット・モンゴル史、ならびにチベット仏教世界と満州人王朝清との関係史である。資料を読解する力をつけていく傍ら、それぞれの言語史料の有する特徴とその限界について学びつつ、現代の諸研究者による歴史記述の問題点について学んでいく。しかし、院生各自の問題関心にも対応する。

歴史学研究指導

小 松 香 織

担当者の専門分野はトルコ近現代史。オスマン帝国近代における社会構造の諸相やトルコ共和国との連続性といった問題を研究対象としているが、研究指導においては、主要史料言語がオスマン語、トルコ語であるオスマン帝国、トルコ共和国、一部中央アジアのトルコ系諸民族の歴史であれば、近現代史に限らず、政治史、社会経済史、文化史、思想史などといったジャンルを問わず、広く院生各自の問題関心に対応する。

歴史学研究指導

堀 越 宏 一

担当者の専攻は、フランス語圏を中心とした中近世ヨーロッパ史である。大学院の授業では、古代から 17 世紀ころまでの前近代ヨーロッパ史に関する研究のための基本的技術の修得を目指しつつ、同時に、参加者による前近代ヨーロッパ史を対象とした修士論文の制作に資するために、ラテン語ないしヨーロッパ諸言語で書かれた史料と研究文献の講読を通して、研究指導を行う。

歴史学研究指導

小 森 宏 美

東欧・ロシア近現代史研究は冷戦終焉後、大きく変貌を遂げてきた。それをふまえ、授業では社会の変化と歴史の関係に注意を払いつつ、先行研究を読み解く訓練を行う。研究指導は、院生各自の問題関心を尊重するが、国民国家の歴史の枠に限定せずに、歴史叙述の主体と対象の問題についても考えていきたい。

地理学研究指導

久 保 純 子

担当者の専門分野は自然地理学（地形学・第四紀学）で、おもに「平野」の地形を対象としている。最近の研究テーマとしては、関東平野における第四紀の地形・環境変化、日本やアジアをフィールドとした先史時代・歴史時代の平野の環境、自然災害と地形などがある。研究室ではフィールドワークを重視しつつ各人がオリジナルな成果をあげることをめざし、それとともに他大学や学会・研究会との交流や野外巡検なども活発におこないたい。

（担当者の web site <http://www.f.waseda.jp/sumik/>）

地理学研究指導

箸 本 健 二

担当教員の専門分野は経済地理学および都市地理学であり、特に大都市圏における商業立地や、地方都市の中心市街地問題とその活性化を主な研究テーマとしている。研究指導では、学生の問題意識や関心を尊重しつつ、産業システムの空間的展開を経済地理学的視点から解釈し、修士論文に収斂するための諸段階について指導する。また研究指導の一環として、現地調査ならびに他大学院との合同勉強会（インターゼミ）を実施する。

地理学研究指導

山 内 昌 和

担当者の専門分野は人口地理学および農山漁村地理学である。研究上の関心は持続的な地域社会の仕組みを探ることにあり、最近では地域における人口・家族・世帯の変化と就業・産業構造の変容との関連の解明が研究課題である。研究指導では、学生の関心を尊重しつつ、先行研究の検討、統計等各種資料や野外調査から得たデータの分析、課題設定に応じた考察をバランスよく行うことを特に重視し、修士論文作成に向けた指導を行う。

政治学研究指導

遠 藤 美 奈

担当者の問題関心は、人間生活に必要なニーズの充足について公権力は憲法上どのような義務を負うかにある。研究指導では、憲法に関わる修士論文の完成に向けて、解釈論及び憲法理論に関する文献講読を行い、それぞれの問題意識を明確化するとともに、各人の研究報告とそれに対する討論を通じて、論文における論証を学問的検討に耐えうる水準に鍛えてゆく作業を行う。

経済学研究指導

藁 谷 友 紀

テーマ「企業動態の研究」：経済構造の変化に対し企業はいかに適応するのか、適応力の違いはなぜ生じるのか、企業の競争力とは何か、そして企業の行動はいかにして経済のダイナミズムをもたらすのか、こうした問題について経済学、経営学の理論・手法を用いて分析します。理論分析、データを用いた実証分析など、多様な視点から企業とマクロの関係について検討します。

経済学研究指導

熊 谷 善 彰

株式・債券・為替・商品などの市場の価格変動メカニズムの分析、企業・家計などの経済主体がリスクのある状況で行う意思決定についてファイナンス理論を応用した分析を主要な対象とする。当該分野の基礎的な文献ならびに学生の研究テーマに関連した先行研究の講読と各人の研究報告を通じて修士論文の作成を支援する。

社会学研究指導

若 林 幹 夫

都市、メディア、空間、時間、身体等を対象とする社会学理論、比較社会学、現代社会論を専門とする。社会学のみならず隣接する社会諸科学や人文諸科学等も視野に入れた文脈の中に各自の問題意識を位置づけ、必要な知識や教養を身につけ、文献の講読、レジュメや草稿の執筆、報告、討論を繰り返し、研究を深化させて修士論文に結実させるための訓練と指導をおこなう。

メディア・コミュニケーション学研究指導

伊 藤 守

担当者の専門分野は、メディア・スタディーズ、コミュニケーション研究である。大学院の授業では、メディアを媒介としたコミュニケーションや情報現象に関する研究のための、基本的概念や方法の習得を行いつつ、この分野に関する専門的関心を彫琢する。また、修士論文の執筆に向けて、問いの設定、分析方法、論述や検証の仕方について指導する。

メディア・コミュニケーション学研究指導

野 中 章 弘

ジャーナリズムと民主主義の関係性を有機的、歴史的な視点で捉えながら、社会改良につながるジャーナリズムの倫理、あり方を考えていく。プリントメディアだけでなく、映像メディア（テレビ、ドキュメンタリー映画など）も研究の対象としながら、実践的なスキルを鍛え、広く人間と社会について考える洞察力を養う。学生はそれぞれ社会現象を観察するフィールドを定め、社会的課題の解決に向けたジャーナリズムの役割、ミッションについて検証し、認識を深めていきたい。

[数学教育専攻]

数学科教育研究指導（教育情報・評価） 瀧澤 武 信

教育情報の分析や評価などに関連して、テスト理論やファジィ理論に関する数学的基礎とその応用についての演習をおこなう。

テスト理論については、S-P表分析やCMIシステムなどの基礎と応用について研究をおこなう。また、ファジィ理論に関しては、教材構造分析、教育評価システムなどの基礎と応用について研究をおこなう。

これらのテーマは、いずれも教育情報工学の新しい研究課題であり、現在のような情報化時代の数学教育に有用である。

解析学・応用解析学研究指導 新 井 仁 之

解析学、応用解析学に関する研究指導を行う。たとえば次のテーマのいずれかについて考究していくことができる。

1) ウェーブレット・フレームなどの解析学の純粋数学的研究、またはその応用。

2) 人の視知覚に関する数理科学とその錯視科学、画像処理などへの応用。

解析学の高度な素養を身につけるとともに、それが諸科学技術分野にどのように使われうるのか、その具体的事例を学び、研究を行っていく。

解析学の数学的理論とその実用的な応用に関する学習・研究は、研究者としてはもちろん、教育、産業等の分野で活躍するための一つの素養となるであろう。

代数学研究指導 広 中 由美子

数論に関する大学院としての基礎的ゼミを通じて研究指導する。

代数学研究指導 村 井 聡

可換環に関する代数的な研究か凸多面体の組合せ論に関する研究についての指導を行う。代数的な研究を希望する場合、可換環論の基礎知識を学習し、組合せ論と関連する代数に関する研究やグレブナー基底などを用いて計算代数に関連する研究を行う。組合せ論的な研究を希望する場合、凸多面体論の基礎を学び、面の個数の数え上げ論に関する研究を行う。

幾何学研究指導 小 森 洋 平

複素解析幾何の話題としてリーマン面やテータ関数、フックス群やクライン群などの離散群の幾何を扱う。さらに多面体の鏡映変換群に関する幾何について研究を行う。また幾何教育のテーマとして、平面代数曲線論などの射影幾何学の研究も行う。

情報数学研究指導 横 森 貴

計算量の理論、アルゴリズム論など計算理論一般に関連する最近の研究分野の中から学生が主体的に研究テーマを選定し、探究することを基本とする。具体的なテーマとしては、オートマトン・形式言語理論、計算論的学習理論、分子計算の理論、およびこれらに関連する離散数学的なトピックス（自由半群論・グラフ理論など）を含む。一テーマを学ぶことを通して、他テーマへの応用・拡張可能性を常に探究することを研究指導の基本方針とする。

情報数学研究指導 小 柴 健 史

暗号理論や量子計算等に関連する最新の研究分野の中から学生の希望に応じて研究テーマを決定する。テーマ決定後は、テーマに関する基本的な成果や最新の成果に関する論文をベースにしたセミナーを中心として理論計算機科学研究の進め方について指導する。また、国内外での研究成果の発表を推奨している。

トポロジー研究指導 谷 山 公 規

結び目理論、特にその中でも空間グラフ理論を専門としている。また3、4次元多様体論、位相幾何学的グラフ理論、一般位相空間論、トポロジーと関わる微分幾何学などにも興味を持っている。これらの話題の中から学生の希望によって研究テーマを決める。適当なテキストや論文によるセミナーを主体として数学研究の進め方を指導する。また関連する国内外の研究会、談話会、セミナーなどへの積極的な参加も奨励する。

V. 各コード一覧

1. 都道府県コード

都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード
北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38	その他	99
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40		

2. 設置区分コード

設置区分	コード	設置区分	コード	設置区分	コード
国立	1	私立	3	その他	6
公立	2	通信教育	5	海外	9

3. 課程区分コード

課程区分	コード
学部卒業(見込)の場合	理系学部卒(見込) → 25
	文系学部卒(見込) → 26

4. 学部コード(早稲田大学出身者のみ記入)

学部	コード	学部	コード	学部	コード
政経学部	11	理工学部	17	文学部	24
法学部	12	社会科学部	18	人間科学部(通信)	25
第一文学部	13	人間科学部	19	基幹理工学部	26
第二文学部	14	スポーツ科学部	20	創造理工学部	27
教育学部	15	国際教養学部	21	先進理工学部	28
商学部	16	文化構想学部	23		

5. 受験外国語コード(英語教育専攻受験者・外国学生入試受験者は不要)

受験外国語	コード	受験外国語	コード	受験外国語	コード
英語	1	フランス語	3	ロシア語	5
ドイツ語	2	中国語	4	スペイン語	6

6. 研究指導コード

[学校教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
110	教育学研究指導	藤井千春
115	教育史研究指導	湯川次義
121	教育哲学研究指導	坂倉裕治
131	学校経営学研究指導	菊地栄治
135	比較教育学研究指導	長島啓記
141	教育行財政学研究指導	小松茂久
142	教育工学研究指導	三尾忠男
143	初等教育学研究指導	河村茂雄
144	初等教育学研究指導	佐藤隆之
146	初等教育学研究指導	小林宏己
151	発達・教育心理学研究指導	上淵寿士
156	臨床心理学研究指導	堀正乾
160	教育評価・測定研究指導	椎名乾平
165	障害・神経心理学研究指導	坂爪一幸
170	学校心理学研究指導	本田恵子
171	特別支援教育学研究指導	梅永雄二
175	教育社会学研究指導	吉田文子
180	社会教育学研究指導	小林敦子
185	社会教育学研究指導	前田耕司
186	社会教育学研究指導	矢口徹也

[国語教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
207	国語科教育研究指導	幸田国広
210	国語科教育研究指導	町田守弘
231	日本語学研究指導	松木正恵
235	国文学研究指導	松本直樹
241	国文学研究指導	新美哲彦
240	国文学研究指導	福家俊幸
250	国文学研究指導	大津雄一
255	国文学研究指導	田淵句美子
260	国文学研究指導	中嶋隆
271	国文学研究指導	内山精也
270	国文学研究指導	堀誠
291	国文学研究指導	石原千秋
280	国文学研究指導	金井景子
292	国文学研究指導	和田敦彦

[英語教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
311	英語科教育研究指導	折井麻美子
321	英語科教育研究指導	澤木泰代
330	英語科教育研究指導	原田哲男
331	英語科教育研究指導	クイント＝オオガーボールドウィン
351	英語学研究指導	久野正和
361	イギリス文学研究指導	木村晶子
371	アメリカ文学研究指導	石原剛

[社会科教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
410	社会科教育研究指導	池 俊 介
416	社会科教育研究指導	近 藤 孝 弘
447	歴史学研究指導	高 木 徳 郎
425	歴史学研究指導	大 橋 幸 泰
446	歴史学研究指導	石 濱 裕美子
441	歴史学研究指導	小 松 香 織
428	歴史学研究指導	堀 越 宏 一
431	歴史学研究指導	小 森 宏 美子
450	地理学研究指導	久 保 純 子
460	地理学研究指導	箸 本 健 二
456	地理学研究指導	山 内 昌 和
466	政治学研究指導	遠 藤 美 奈
472	経済学研究指導	藁 谷 友 紀
473	経済学研究指導	熊 谷 善 彰
480	社会学研究指導	若 林 幹 夫
486	メディア・コミュニケーション学 研究指導	伊 藤 守
487	メディア・コミュニケーション学 研究指導	野 中 章 弘

[数学教育専攻]

コード	研究指導名	指導教員名
520	数学科教育研究指導 (教育情報・評価)	瀧 澤 武 信
531	解析学・応用解析学 研究指導	新 井 仁 之
540	代数学研究指導	広 中 由美子
541	代数学研究指導	村 井 聡
551	幾何学研究指導	小 森 洋 平
560	情報数学研究指導	横 森 貴
561	情報数学研究指導	小 柴 健 史
570	トポロジー研究指導	谷 山 公 規

7. 出身大学コード

【国立大学】

0044	愛知教育大学	0025	東京農工大学
0012	秋田大学	0010	東北大学
0006	旭川医科大学	0064	徳島大学
0015	茨城大学	0059	鳥取大学
0009	岩手大学	0082	富山医科大学
0017	宇都宮大学	0110	富山大学
0066	愛媛大学	0085	豊橋技術科学大学
0108	大分大学	0084	長岡技術科学大学
0052	大阪外国語大学	0045	名古屋工業大学
0053	大阪教育大学	0043	名古屋大学
0051	大阪大学	0073	長崎大学
0061	岡山大学	0056	奈良教育大学
0004	小樽商科大学	0099	奈良先端科学技術大学院大学
0031	お茶の水女子大学	0057	奈良女子大学
0005	帯広畜産大学	0095	鳴門教育大学
0105	香川大学	0035	新潟大学
0077	鹿児島大学	0079	浜松医科大学
0037	金沢大学	0033	一橋大学
0096	鹿屋体育大学	0092	兵庫教育大学
0007	北見工業大学	0008	弘前大学
0041	岐阜大学	0062	広島大学
0071	九州工業大学	0103	福井大学
0069	九州大学	0068	福岡教育大学
0049	京都教育大学	0014	福島大学
0050	京都工芸繊維大学	0098	北陸先端科学技術大学院大学
0048	京都大学	0002	北海道教育大学
0074	熊本大学	0001	北海道大学
0018	群馬大学	0046	三重大学
0106	高知大学	0011	宮城教育大学
0054	神戸大学	0109	宮崎大学
0019	埼玉大学	0003	室蘭工業大学
0107	佐賀大学	0013	山形大学
0080	滋賀医科大学	0063	山口大学
0047	滋賀大学	0101	山梨大学
0042	静岡大学	0034	横浜国立大学
0104	島根大学	0078	琉球大学
0089	上越教育大学	0058	和歌山大学
0040	信州大学	000E	その他
0100	政策研究大学院大学		
0097	総合研究大学院大学		
0020	千葉大学		
0016	筑波大学		
0111	筑波技術大学		
0032	電気通信大学		
0022	東京医科歯科大学		
0102	東京海洋大学		
0023	東京外国語大学		
0024	東京学芸大学		
0026	東京芸術大学		
0028	東京工業大学		
0021	東京大学		

【放送大学】

0991 放送大学

【公立大学】

1095	愛知県立大学	1098	静岡文化芸術大学
1053	愛知県立看護大学	1073	島根県立大学
1012	愛知県立芸術大学	1026	下関市立大学
1045	会津大学	1085	首都大学東京
1064	青森県立保健大学	1075	情報科学芸術大学院大学
1044	青森公立大学	1003	高崎経済大学
1065	秋田県立大学	1093	千葉県立保健医療大学
1102	秋田公立美術大学	1104	敦賀市立看護大学
1071	石川県立看護大学	1007	都留文科大学
1087	石川県立大学	1035	東京都立科学技術大学
1051	茨城県立医療大学	1004	東京都立大学
1060	岩手県立大学	1061	東京都立保健科学大学
1081	愛媛県立医療技術大学	1040	富山県立大学
1063	大分県立看護科学大学	1105	長岡造形大学
1017	大阪女子大学	1108	長野大学
1018	大阪市立大学	1092	長崎県立大学
1049	大阪府立看護大学	1052	長野県看護大学
1083	大阪府立大学	1013	名古屋市立大学
1047	岡山県立大学	1089	名寄市立大学
1068	沖縄県立看護大学	1023	奈良県立医科大学
1036	沖縄県立芸術大学	1041	奈良県立大学
1076	尾道市立大学（尾道大学）	1094	新潟県立大学
1080	香川県立保健医療大学	1077	新潟県立看護大学
1078	神奈川県立保健福祉大学	1097	新見公立大学
1006	金沢美術工芸大学	1022	姫路工業大学
1028	北九州市立大学	1046	兵庫県立看護大学
1072	岐阜県立看護大学	1082	兵庫県立大学
1008	岐阜薬科大学	1039	広島県立大学
1029	九州歯科大学	1074	広島県立保健福祉大学
1014	京都市立芸術大学	1050	広島市立大学
1016	京都府立医科大学	1042	福井県立大学
1015	京都府立大学	1043	福岡県立大学
1038	釧路公立大学	1030	福岡女子大学
1032	熊本県立大学	1002	福島県立医科大学
1086	群馬県立県民健康科学大学	1106	福知山公立大学 （成美大学・京都創成大学）
1034	群馬県立女子大学	1100	福山市立大学
1067	県立長崎シーボルト大学	1057	前橋工科大学
1025	県立広島女子大学	1058	三重県立看護大学
1027	高知県立大学（高知女子大学）	1056	宮城大学
1096	高知工科大学	1059	宮崎県立看護大学
1084	県立広島大学	1048	宮崎公立大学
1020	神戸市外国語大学	1099	名桜大学
1055	神戸市看護大学	1070	山形県立保健医療大学
1021	神戸商科大学	1103	山形県立米沢栄養大学
1101	公立鳥取環境大学	1033	山口県立大学
1069	公立はこだて未来大学	1107	山口東京理科大学
1079	国際教養大学	1062	山梨県立看護大学
1066	埼玉県立大学	1088	山梨県立大学
1001	札幌医科大学	1005	横浜市立大学
1090	札幌市立大学	1024	和歌山県立医科大学
1091	産業技術大学院大学	000E	その他
1054	滋賀県立大学		
1037	静岡県立大学		

【私立大学】

2436	愛国学園大学	2207	大阪芸術大学	2441	関西国際大学
2166	愛知医科大学	2208	大阪工業大学	2218	関西大学
2167	愛知学院大学	2224	大阪国際女子大学	2429	関西福祉科学大学
2169	愛知学泉大学	2355	大阪国際大学	2430	関西福祉大学
2470	愛知工科大学	2209	大阪産業大学	2582	環太平洋大学
2168	愛知工業大学	2210	大阪歯科大学	2144	関東学院大学
2384	愛知産業大学	2211	大阪樟蔭女子大学	2305	関東学園大学
2301	愛知淑徳大学	2212	大阪商業大学	2527	畿央大学
2540	愛知新城大谷大学	2542	大阪女学院大学	2057	北里大学
2165	愛知大学	2523	大阪成蹊大学	2372	吉備国際大学
2491	愛知東邦大学(東邦学園大学)	2569	大阪総合保育大学	2567	岐阜医療科学大学
2438	愛知文教大学	2213	大阪体育大学	2161	岐阜経済大学
2390	愛知みずほ大学	2214	大阪電気通信大学	2163	岐阜女子大学
2012	青森大学	2493	大阪人間科学大学	2164	岐阜聖徳学園大学
2435	青森中央学院大学	2613	大阪物療大学	2495	九州栄養福祉大学
2051	青山学院大学	2605	大阪保険医療大学	2445	九州看護福祉大学
2548	秋田看護福祉大学	2215	大阪薬科大学	2273	九州共立大学
2162	朝日大学	2623	大阪行岡医療大学	2286	九州国際大学
2001	旭川大学	2186	大谷大学	2274	九州産業大学
2141	麻布大学	2054	大妻女子大学	2443	九州情報大学
2052	亜細亜大学	2231	大手前大学	2275	九州女子大学
2030	足利工業大学	2573	大原大学院大学	2289	九州東海大学
2229	芦屋大学	2533	大宮法科大学院大学	2458	九州保健福祉大学
2034	跡見学園女子大学	2627	岡崎女子大学	2432	九州ルーテル学院大学
2360	石巻専修大学	2510	岡山学院大学	2451	共愛学園前橋国際大学
2637	一宮研伸大学	2252	岡山商科大学	2484	共栄大学
2028	茨城キリスト教大学	2253	岡山理科大学	2577	京都医療科学大学
2336	いわき明星大学	2625	沖縄科学技術大学院大学	2187	京都外国語大学
2016	岩手医科大学	2543	沖縄キリスト教学院大学	2188	京都学園大学
2634	岩手保健医療大学	2298	沖縄国際大学	2612	京都華頂大学
2589	植草学園大学	2297	沖縄大学	2629	京都看護大学
2053	上野学園大学	2464	開智国際大学(日本橋学館大学)	2192	京都光華女子大学
2449	宇都宮共和大学(那須大学)	2487	嘉悦大学	2189	京都産業大学
2512	宇部フロンティア大学	2437	学習院女子大学	2547	京都情報大学院大学
2517	浦和大学	2056	学習院大学	2190	京都女子大学
2561	映画専門大学院大学	2295	鹿児島国際大学	2317	京都精華大学
2598	SBI 大学院大学	2406	鹿児島純心女子大学	2378	京都造形芸術大学
2368	江戸川大学	2325	活水女子大学	2194	京都橘大学
2258	エリザベト音楽大学	2299	神奈川工科大学	2197	京都ノートルダム女子大学
2570	L C A 大学院大学	2142	神奈川大学	2622	京都美術工芸大学
2027	奥羽大学	2143	神奈川歯科大学	2424	京都文教大学
2439	桜花学園大学	2154	金沢医科大学	2191	京都薬科大学
2217	追手門学院大学	2340	金沢学院大学	2058	共立女子大学
2055	桜美林大学	2156	金沢工業大学	2059	共立薬科大学
2553	大阪青山大学	2155	金沢星稜大学	2060	杏林大学
2202	大阪医科大学	2145	鎌倉女子大学	2588	桐生大学
2216	大阪大谷大学(大谷女子大学)	2618	亀田医療大学	2221	近畿大学
2203	大阪音楽大学	2254	川崎医科大学	2170	金城学院大学
2204	大阪学院大学	2379	川崎医療福祉大学	2467	金城大学
2568	大阪河崎リハビリテーション大学	2347	川村学園女子大学	2061	国立音楽大学
2475	大阪観光大学(大阪明浄大学)	2338	神田外語大学	2291	熊本学園大学
2205	大阪経済大学	2219	関西医科大学	2528	熊本保健科学大学
2206	大阪経済法科大学	2524	関西医療大学(関西鍼灸大学)	2414	倉敷芸術科学大学
		2220	関西外国語大学	2255	くらしき作陽大学
		2232	関西学院大学	2308	久留米工業大学
		2571	関西看護医療大学	2276	久留米大学

2562	グロービス経営大学院大学	2590	三育学院大学	2337	駿河台大学
2499	群馬医療福祉大学	2314	産業医科大学	2504	諏訪東京理科大学
2549	群馬パース大学	2315	産業能率大学	2391	成安造形大学
2044	敬愛大学	2400	山陽学園大学	2344	聖学院大学
2062	慶應義塾大学	2318	志學館大学	2357	聖カタリナ大学
2349	恵泉女学園大学	2174	至学館大学（中京女子大学）	2079	成蹊大学
2375	敬和学園大学	2620	事業構想大学院大学	2529	星槎大学
2519	健康科学大学	2566	事業創造大学院大学	2312	星槎道都大学（道都大学）
2063	工学院大学	2616	滋慶医療科学大学院大学	2080	成城大学
2185	皇學館大学	2271	四国学院大学	2507	星城大学
2233	甲子園大学	2269	四国大学	2081	聖心女子大学
2431	高知工科大学	2554	四條畷学園大学	2518	清泉女学院大学
2235	甲南女子大学	2506	静岡英和学院大学	2082	清泉女子大学
2234	甲南大学	2398	静岡産業大学	2520	聖泉大学
2476	神戸医療福祉大学 （近畿福祉大学）	2538	静岡福祉大学	2367	聖徳大学
2236	神戸海星女子学院大学	2468	静岡文化芸術大学	2230	聖トマス大学（英知大学）
2237	神戸学院大学	2376	静岡理工科大学	2277	西南学院大学
2365	神戸芸術工科大学	2457	至誠館大学（萩国際大学）	2403	西南女学院大学
2247	神戸国際大学	2069	芝浦工業大学	2452	西武文理大学
2579	神戸夙川学院大学	2031	自治医科大学	2535	聖母大学
2238	神戸女学院大学	2068	実践女子大学	2572	聖マリア学院大学
2239	神戸女子大学	2222	四天王寺大学 （四天王寺国際仏教大学）	2148	聖マリアンナ医科大学
2594	神戸常盤大学	2639	社会情報大学院大学	2383	聖隷クリストファー大学
2241	神戸松蔭女子学院大学	2319	就実大学	2083	聖路加国際大学 （聖路加看護大学）
2558	神戸情報大学院大学	2592	修文大学	2243	聖和大学
2242	神戸親和女子大学	2346	秀明大学	2394	清和大学
2555	神戸ファッション造形大学	2419	十文字学園女子大学	2302	摂南大学
2240	神戸薬科大学	2043	淑徳大学	2084	専修大学
2456	神戸山手大学	2193	種智院大学	2149	洗足学園音楽大学
2251	高野山大学	2615	純真学園大学	2417	仙台白百合女子大学
2026	郡山女子大学	2070	順天堂大学	2018	仙台大学
2064	国学院大学	2465	松蔭大学	2525	千里金蘭大学
2409	国際医療福祉大学	2304	尚綱大学	2223	相愛大学
2065	国際基督教大学	2515	尚綱学院大学	2085	創価大学
2326	国際大学	2381	城西国際大学	2290	崇城大学
2421	国際仏教学大学院大学	2037	城西大学	2530	創造学園大学
2330	国際武道大学	2071	上智大学	2244	園田学園女子大学
2066	国土館大学	2631	湘南医療大学	2296	第一工業大学
2602	こども教育宝仙大学	2146	湘南工科大学	2279	第一薬科大学
2388	駒沢女子大学	2462	尚美学園大学	2086	大正大学
2067	駒澤大学	2033	上武大学	2440	太成学院大学
2036	埼玉医科大学	2537	情報セキュリティ大学院大学	2087	大東文化大学
2485	埼玉学園大学	2331	昭和音楽大学	2172	大同大学（大同工業大学）
2306	埼玉工業大学	2073	昭和女子大学	2364	高岡法科大学
2584	サイバー大学	2072	昭和大学	2482	高崎健康福祉大学
2492	嵯峨美術大学 （京都嵯峨芸術大学）	2074	昭和薬科大学	2483	高崎商科大学
2147	相模女子大学	2075	女子栄養大学	2088	高千穂大学
2591	佐久大学	2076	女子美術大学	2426	高松大学
2361	作新学院大学	2550	白梅学園大学	2614	宝塚医療大学
2559	札幌大谷大学	2077	白百合女子大学	2341	宝塚大学（宝塚造形芸術大学）
2003	札幌学院大学	2490	仁愛大学	2089	拓殖大学
2386	札幌国際大学	2078	杉野服飾大学	2090	玉川大学
2002	札幌大学	2171	相山女学園大学	2362	多摩大学
2626	札幌保健医療大学	2377	鈴鹿医療科学大学	2091	多摩美術大学
		2399	鈴鹿大学（鈴鹿国際大学）	2358	筑紫女学園大学

2433	千歳科学技術大学	2129	東京都市大学（武蔵工業大学）	2177	名古屋学院大学
2534	千葉科学大学	2109	東京農業大学	2508	名古屋学芸大学
2345	千葉経済大学	2461	東京福祉大学	2316	名古屋経済大学
2045	千葉工業大学	2501	東京富士大学	2178	名古屋芸術大学
2046	千葉商科大学	2575	東京未来大学	2471	名古屋産業大学
2047	中央学院大学	2110	東京薬科大学	2179	名古屋商科大学
2092	中央大学	2111	東京理科大学	2180	名古屋女子大学
2389	中京学院大学	2196	同志社女子大学	2371	名古屋造形大学 （名古屋造形芸術大学）
2173	中京大学	2195	同志社大学	2454	名古屋文理大学
2511	中国学園大学	2601	東都医療大学	2332	奈良学園大学（奈良産業大学）
2428	中部学院大学	2039	東邦音楽大学	2250	奈良大学
2175	中部大学	2112	東邦大学	2182	南山大学
2418	筑波学院大学	2113	桐朋学園大学	2489	新潟医療福祉大学
2392	つくば国際大学	2453	桐朋学園大学院大学	2396	新潟経営大学
2093	津田塾大学	2176	同朋大学	2410	新潟工科大学
2150	鶴見大学	2022	東北医科薬科大学 （東北薬科大学）	2397	新潟国際情報大学
2369	帝京科学大学	2019	東北学院大学	2351	新潟産業大学
2094	帝京大学	2380	東北芸術工科大学	2466	新潟青陵大学
2339	帝京平成大学	2481	東北公益文科大学	2310	新潟薬科大学
2545	デジタルハリウッド大学	2020	東北工業大学	2586	新潟リハビリテーション大学
2248	帝塚山大学	2013	東北女子大学	2287	西九州大学
2225	帝塚山学院大学	2023	東北生活文化大学	2282	西日本工業大学
2502	田園調布学園大学	2021	東北福祉大学	2115	二松学舎大学
2459	天使大学	2448	東北文化学園大学	2117	日本医科大学
2624	天理医療大学	2607	東北文教大学	2574	日本医療科学大学
2249	天理大学	2363	東洋英和女学院大学	2628	日本医療大学
2267	東亜大学	2382	東洋学園大学	2617	日本ウェルネススポーツ大学
2350	桐蔭横浜大学	2114	東洋大学	2611	日本映画大学
2323	東海学院大学（東海女子大学）	2280	東和大学	2563	日本教育大学院大学
2412	東海学園大学	2455	常磐会学園大学	2278	日本経済大学 （第一経済大学・福岡経済大学）
2095	東海大学	2328	常磐大学	2041	日本工業大学
2603	東京有明医療大学	2270	徳島文理大学	2118	日本歯科大学
2096	東京医科大学	2266	徳山大学	2119	日本社会事業大学
2619	東京医療学院大学	2320	常葉大学（常葉学園大学）	2120	日本獣医生命科学大学 （日本獣医畜産大学）
2551	東京医療保健大学	2032	獨協医科大学	2122	日本女子体育大学
2097	東京音楽大学	2040	獨協大学	2121	日本女子大学
2098	東京家政大学	2494	鳥取環境大学	2600	日本赤十字秋田看護大学
2099	東京家政学院大学	2633	鳥取看護大学	2335	日本赤十字看護大学
2366	東京基督教大学	2434	苫小牧駒澤大学	2496	日本赤十字九州国際看護大学
2100	東京経済大学	2370	富山国際大学	2541	日本赤十字豊田看護大学
2334	東京工科大学	2324	豊田工業大学	2477	日本赤十字広島看護大学
2151	東京工芸大学	2423	豊橋創造大学	2446	日本赤十字北海道看護大学
2035	東京国際大学	2395	長岡造形大学	2123	日本体育大学
2101	東京歯科大学	2488	長岡大学	2116	日本大学
2102	東京慈恵会医科大学	2514	長崎ウエスレヤン大学	2585	日本伝統医療科学大学院大学
2422	東京純心女子大学	2497	長崎外国語大学	2183	日本福祉大学
2348	東京情報大学	2479	長崎国際大学	2313	日本文化大学
2500	東京女学館大学	2404	長崎純心大学	2292	日本文理大学
2103	東京女子大学	2288	長崎総合科学大学	2608	日本保健医療大学
2104	東京女子医科大学	2159	長野大学	2531	日本薬科大学
2105	東京女子体育大学	2632	長野保健医療大学	2472	人間環境大学
2106	東京神学大学	2521	長浜バイオ大学	2463	人間総合科学大学
2552	東京聖栄大学	2281	中村学園大学	2025	ノースアジア大学
2387	東京成徳大学	2307	名古屋音楽大学		
2107	東京造形大学	2353	名古屋外国語大学		
2108	東京電機大学				

(秋田経済大学・秋田経済法科大学)		2469	富士常葉大学	2486	ものづくり大学
2256	ノートルダム清心女子大学	2199	佛教大学	2228	桃山学院大学
2226	梅花女子大学	2125	文化学園大学(文化女子大学)	2322	盛岡大学
2268	梅光学院大学	2564	文化ファッション大学院大学	2578	森ノ宮医療大学
2333	白鷗大学	2374	文京学院大学	2536	八洲学園大学
2004	函館大学	2042	文教大学	2265	安田女子大学
2509	羽衣国際大学	2450	文星芸術大学	2583	山口学芸大学
2014	八戸工業大学	2473	平安女学院大学	2416	山口東京理科大学
2321	八戸大学	2498	平成音楽大学	2609	ヤマザキ学園大学
2198	花園大学	2420	平成国際大学	2630	大和大学
2539	浜松学院大学	2293	別府大学	2503	山梨英和大学
2352	浜松大学	2126	法政大学	2158	山梨学院大学
2597	ハリウッド大学院大学	2427	北翔大学(北海道浅井学園大学)	2153	横浜商科大学
2227	阪南大学	2007	北星学園大学	2621	横浜創英大学
2526	東大阪大学	2593	北陸学院大学	2610	横浜美術大学
2408	東日本国際大学	2300	北陸大学	2565	横浜薬科大学
2557	光産業創成大学院大学	2596	保険医療経営大学	2354	四日市大学
2556	ビジネス・ブレークスルー大学院大学	2127	星薬科大学	2576	四日市看護医療大学
2401	比治山大学	2008	北海学園大学	2011	酪農学園大学
2581	姫路大学(近大姫路大学)	2309	北海商科大学	2137	立教大学
2342	姫路獨協大学		(北海学園北見大学)	2138	立正大学
2245	兵庫医科大学	2005	北海道医療大学	2480	立命館アジア太平洋大学
2580	兵庫医療大学	2009	北海道科学大学	2200	立命館大学
2413	兵庫大学		(北海道工業大学)	2201	龍谷大学
2599	弘前医療福祉大学	2359	北海道情報大学	2356	流通科学大学
2015	弘前学院大学	2636	北海道千歳リハビリテーション大学	2029	流通経済大学
2259	広島経済大学	2311	北海道東海大学	2560	了徳寺大学
2260	広島工業大学	2447	北海道文教大学	2124	ルーテル学院大学
2263	広島国際学院大学	2010	北海道薬科大学	2049	麗澤大学
2442	広島国際大学	2160	松本歯科大学	2544	LEC 東京リーガルマインド大学
2261	広島修道大学	2505	松本大学	2139	和光大学
2262	広島女学院大学	2385	松山東雲女子大学	2140	早稲田大学
2606	広島都市学園大学	2272	松山大学	2460	稚内北星学園大学
2415	広島文化学園大学(呉大学)	2327	三重中京大学	2050	和洋女子大学
2264	広島文教女子大学	2294	南九州大学	000E	その他
2604	びわこ学院大学	2411	身延山大学		
2522	びわこ成蹊スポーツ大学	2257	美作大学		
2425	プール学院大学	2024	宮城学院女子大学		
2152	フェリス女学院大学	2405	宮崎国際大学		
2635	福井医療大学	2343	宮崎産業経営大学		
2157	福井工業大学	2246	武庫川女子大学		
2513	福岡医療福祉大学	2128	武蔵大学		
	(第一福祉大学)	2130	武蔵野音楽大学		
2638	福岡看護大学	2532	武蔵野学院大学		
2284	福岡工業大学	2131	武蔵野大学		
2444	福岡国際大学	2132	武蔵野美術大学		
2285	福岡歯科大学	2407	名桜大学		
2595	福岡女学院看護大学	2038	明海大学		
2373	福岡女学院大学	2134	明治学院大学		
2283	福岡大学	2329	明治国際医療大学		
2516	福島学院大学		(明治鍼灸大学)		
2303	福山大学	2133	明治大学		
2402	福山平成大学	2135	明治薬科大学		
2017	富士大学	2184	名城大学		
2006	藤女子大学	2393	目白大学		
2181	藤田保健衛生大学	2136	明星大学		